

(様式第 10)

熊大病医事第 203号
平成27年10月2日

九州厚生局長 殿

開設者名 熊本大学医学部附属病院長
(管理者) 水田 博志

熊本大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第の規定に基づき、平成 26 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目39番1号
氏 名	国立大学法人熊本大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

熊本大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒860-8556 熊本市中央区本荘1丁目1番1号	電話(096) 342 - 2111
------------------------------	--------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1 血液内科 2リウマチ科 3腎臓内科 4代謝内科 5呼吸器内科 6消化器内科 7神経内科 8 循環器内科 9 10 11 12 13 14	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	有	・	無
外科と組み合わせた診療科名			
1消化器外科 2乳腺外科 3呼吸器外科 4心臓血管外科 5小児外科 6	7		
8 9 10 11 12 13	14		
診療実績			

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 ②小児科 ③整形外科 ④脳神経外科 ⑤皮膚科 ⑥泌尿器科 ⑦産婦人科 8産科 9婦人科 ⑩眼科 ⑪耳鼻咽喉科 12放射線科 ⑬放射線診断科 ⑭放射線治療科 ⑮麻酔科 ⑯救急科

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有	・	無
歯科と組み合わせた診療科名			
1歯科口腔外科 2 3 4 5 6 7			
歯科の診療体制			

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1移植外科 2形成外科 3リハビリテーション科 4病理診断科 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
50床	床	床	床	795床	845床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成27年10月 1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	395人	258人	558.6 人	看護補助者	51人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	16人	25人	32.4 人	理学療法士	14人	臨床検査技師	69人
薬 剤 師	69人	0人	69人	作業療法士	9人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	6人	その他	0人
助産師	31人	2人	32.4人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	785人	52人	820.8人	臨床工学士	18人	医療社会事業従事者	8人
准看護師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	22人
歯科衛生士	1人	0人	1人	歯科技工士	1人	事務職員	244人
管理栄養士	8人	0人	8人	診療放射線技師	43人	その他の職員	38人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成27年 9月 1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	18人	眼科専門医	13人
外科専門医	52人	耳鼻咽喉科専門医	11人
精神科専門医	12人	放射線科専門医	24人
小児科専門医	21人	脳神経外科専門医	17人
皮膚科専門医	10人	整形外科専門医	25人
泌尿器科専門医	12人	麻酔科専門医	16人
産婦人科専門医	23人	救急科専門医	8人
		合 計	262人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	670.38人	21.86人	692.24人
1日当たり平均外来患者数	1,324.75人	77.68人	1,402.43人
1日当たり平均調剤数			724.18 剤
必要医師数			150.035人
必要歯科医師数			6.62人
必要薬剤師数			24人
必要(准)看護師数			396人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除し

た数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	883 m ²	SR	病床数	27床	心電計	①有・無
			人工呼吸装置	①有・無	心細動除去装置	①有・無
			その他の救急蘇生装置	①有・無	ペースメーカー	①有・無
無菌病室等	[固定式の場合] [移動式の場合]	床面積 台数	144.42 m ² 22台	病床数	16床	
医薬品 情報管理室	[専用室の場合] [共用室の場合]	床積 共用する室名	53m ²			
化学検査室	591m ²	SR	(主な設備) 汎用自動分析装置、電解質測定装置、HbA1c分析装置			
細菌検査室	137m ²	SR	(主な設備) 自動塗布装置、薬剤感受性装置、自動染色装置			
病理検査室	397m ²	SR	(主な設備) 自動固定包埋装置、自動染色装置、凍結切片作成装置			
病理解剖室	187m ²	SR	(主な設備) 病理解剖台、臓器写真撮影装置、オートクレーブ			
研究室	479m ²	SR	(主な設備) クリオスタット、遠心機、オートクレーブ			
講義室	1,126m ²	SR	室数	5室	収容定員	828人
図書室	2,543m ²	SR	室数	3室	蔵書数	179,000冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成26年4月1日～平成27年3月31日	
紹介率	85.4%	逆紹介率	69.0%
算出根拠	A: 紹介患者の数	13,529人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	11,583人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	812人	
	D: 初診の患者の数	16,789人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	腎腫瘍に対するロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術	取扱患者数	5 人
当該医療技術の概要 3D拡大視野で手術を行うため、腫瘍の切除が正確に行え、切除部の縫合が短時間で可能となり、結果的に腎阻血時間の短縮が期待でき、阻血に伴う腎機能低下を最小限にできる可能性がある。また、ロボット手術では繊細で多自由度の鉗子操作が可能であるため、通常は開腹手術で行うような難しい腫瘍でも腹腔鏡手術を行うことができる可能性がある。			
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	112人	・膿疱性乾癬	9人
・多発性硬化症	131人	・広範脊柱管狭窄症	2人
・重症筋無力症	202人	・原発性胆汁性肝硬変	96人
・全身性エリテマトーデス	435人	・重症急性膵炎	10人
・スモン	10人	・特発性大腿骨頭壊死症	8人
・再生不良性貧血	69人	・混合性結合組織病	74人
・サルコイドーシス	139人	・原発性免疫不全症候群	13人
・筋萎縮性側索硬化症	44人	・特発性間質性肺炎	42人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	585人	・網膜色素変性症	23人
・特発性血小板減少性紫斑病	74人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	73人	・肺動脈性肺高血圧症	24人
・潰瘍性大腸炎	98人	・神経線維腫症	64人
・大動脈炎症候群	29人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	8人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	39人	・慢性血栓性肺高血圧症	7人
・脊髄小脳変性症	99人	・ライソゾーム病	17人
・クローン病	64人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	25人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	7人	・脊髄性筋萎縮症	13人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	270人	・球脊髄性筋萎縮症	12人
・アミロイドーシス	125人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	57人
・後縦靭帯骨化症	33人	・肥大型心筋症	94人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	83人	・ミトコンドリア病	19人
・ウェゲナー肉芽腫症	20人	・リンパ管筋腫症(LAM)	7人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	56人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	4人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	36人	・黄色靭帯骨化症	6人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	408人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・特定機能病院入院基本料1. 一般病棟 イ (7対1看護)	・病棟薬剤業務実施加算
・特定機能病院入院基本料3. 精神病棟 ニ (15対1看護)	・データ提出加算2
・臨床研修病院入院診療加算	・特定集中治療室管理料3
・救急医療管理加算	・特定集中治療室管理料4
・超急性期脳卒中加算	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・妊産婦緊急搬送入院加算	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・診療録管理体制加算2	・総合周産期特定集中治療室管理料 (母体・胎児集中治療室、新生児集中治療室)
・急性期看護補助体制加算(25対1 5割未満)	・新生児治療回復室入院医療管理料
・看護補助加算1(30対1)(精神病棟)	・小児入院医療管理料2
・療養環境加算	・小児入院医療管理料2に係る加算(プレイルーム加算)
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1	・
・無菌治療室管理加算2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・感染防止対策地域連携加算	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・退院調整加算	・
・新生児特定集中治療室退院調整加算1及び2	・
・救急搬送患者地域連携紹介加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・検体検査管理加算(IV)
・心臓ペースメーカー指導管理料 (植込型除細動器移行加算)	・遺伝カウンセリング加算
・高度難聴指導管理料(イ)(ロ)	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・糖尿病合併症管理料	・植込型心電図検査
・がん性疼痛緩和指導管理料	・時間内歩行試験
・がん患者指導管理料1	・胎児心エコー法
・がん患者指導管理料2	・ヘッドアップティルト試験
・がん患者指導管理料3	・人工臓腑
・外来緩和ケア管理料	・皮下連続式グルコース測定
・移植後患者指導管理料1(臓器移植後患者指導管理料)	・長期継続頭蓋内脳波検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・神経学的検査
・外来リハビリテーション診療料	・補聴器適合検査
・外来放射線照射診療料	・ロービジョン検査判断料
・ニコチン依存症管理料	・内服・点滴誘発試験
・がん治療連携計画策定料	・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)
・がん治療連携管理料	・画像診断管理加算1
・認知症専門診断管理料	・画像診断管理加算2
・肝炎インターフェロン治療計画料	・遠隔画像診断
・薬剤管理指導料	・ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・医療機器安全管理料1	・CT撮影及びMRI撮影
・医療機器安全管理料2	・冠動脈CT撮影加算
・医療機器安全管理料(歯科)	・大腸CT撮影加算
・造血器腫瘍遺伝子検査	・心臓MRI撮影加算
・HPV核酸検出	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・外来化学療法加算1
・検体検査管理加算(I)	・無菌製剤処理料

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・心大血管疾患リハビリテーション料の初期加算	・乳がんセンチネルリンパ節加算1 乳がんセンチネルリンパ節加算2
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・脳血管疾患等リハビリテーション料の初期加算	・経皮的冠動脈形成術
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・運動器リハビリテーション料の初期加算	・経皮的冠動脈ステント留置術
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・経皮的中隔心筋焼灼術
・呼吸器リハビリテーション料の初期加算	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・がん患者リハビリテーション料	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・集団コミュニケーション療法料	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・歯科口腔リハビリテーション料2	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術
・認知療法・認知行動療法1	・経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)
・認知療法・認知行動療法2	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・精神科作業療法	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料 (治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・経皮的大動脈遮断術
・医療保護入院等診療料	・ダメージコントロール手術
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・胃瘻造設術 (内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)
・エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)	・腹腔鏡下肝切除術
・一酸化窒素吸入療法	・生体部分肝移植術
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算(皮膚悪性腫瘍切除術)	・同種死体肝移植術
・組織拡張器による再建手術(一連につき) (乳房(再建手術)の場合に限る。)	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。) (自家培養軟骨移植術に限る。)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)&及び 脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術 (プレートのあるもの))	・同種死体腎移植術
・網膜付着組織を含む硝子体切除術 (眼内内視鏡を用いるもの)	・生体腎移植術
・網膜再建術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・人工尿道括約筋植込・置換術	・歯科外来診療環境体制加算 ・再診時歯科外来診療環境体制加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・歯科診療特別対応連携加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則の5及び6に掲げる手術	・歯科治療総合医療管理料
・輸血管理料Ⅱ	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・貯血式自己血輸血管理体制加算	・う蝕歯無痛的窩洞形成加算
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・CAD/CAM冠
・内視鏡手術用支援機器加算	・入院時食事療養費(Ⅰ)
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・
・手術時歯根面レーザー応用加算	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・
・麻酔管理料(Ⅰ)	・
・麻酔管理料(Ⅱ)	・
・放射線治療専任加算	・
・外来放射線治療加算	・
・1回線量増加加算	・
・高エネルギー放射線治療	・
・強度変調放射線治療(IMRT)	・
・画像誘導放射線治療(IGRT)	・
・体外照射呼吸性移動対策加算	・
・直線加速器による定位放射線治療	・
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	・
・保険医療機関間の連携による病理診断	・
・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製	・
・テレパソロジーによる術中迅速細胞診	・
・病理診断管理加算2	・
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	レビー小体型認知症の臨床経過の縦断的調査研究	橋本 衛	医学部附属病院	1,558,908	補委 独立行政法人日本学術振興会
2	血清・喀痰中のExosomal miRNAを用いたARDSの新規診断・治療戦略	鷺島 克之	医学部附属病院	1,991,098	補委 独立行政法人日本学術振興会
3	肝再生促進メカニズムに関与する細胞周期関連分子の基礎的検討およびその臨床応用	永濱 裕康	医学部附属病院	500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
4	持続性心房細動の機序の解析及び至適治療法についての検討	山部 浩茂	医学部附属病院	705,379	補委 独立行政法人日本学術振興会
5	急性冠症候群におけるCYP2C19機能喪失遺伝子の迅速検出と至適薬物治療法の確立	海北 幸一	医学部附属病院	1,389,371	補委 独立行政法人日本学術振興会
6	セリンプロテアーゼを介した食塩感受性高血圧発症に関する分子機序の解明	安達 政隆	医学部附属病院	1,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
7	乳癌におけるMACC1の解析、特にERalphaとの関連についての解析	山本 豊	医学部附属病院	1,300,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
8	食道癌におけるmTORを標的としたmiRNAreplacementtherapy	木下 浩一	医学部附属病院	1,837,396	補委 独立行政法人日本学術振興会
9	癌におけるCD44を介したROS制御機構の解明と治療への応用	石本 崇胤	医学部附属病院	1,415,382	補委 独立行政法人日本学術振興会
10	胃癌におけるLINE-1メチル化レベルの網羅的解析	岩上 志朗	医学部附属病院	1,737,187	補委 独立行政法人日本学術振興会
11	食道扁平上皮癌薬剤耐性を規定するmicroRNA-gene pathwayの解明	齋藤 誠哉	医学部附属病院	1,576,860	補委 独立行政法人日本学術振興会
12	大腸癌に対する新しいエピジェネティックセラピーの開発	坂本 快郎	医学部附属病院	1,392,429	補委 独立行政法人日本学術振興会
13	肝細胞癌における血中癌幹細胞の同定と標的治療の開発	別府 透	医学部附属病院	1,720,324	補委 独立行政法人日本学術振興会
14	胆管癌におけるポリコーム蛋白の発現意義とエピジェネティック治療への応用	近本 亮	医学部附属病院	1,602,053	補委 独立行政法人日本学術振興会
15	膵臓癌における肝転移を規定するLong non-coding RNAの機能解析	中原 修	医学部附属病院	1,627,730	補委 独立行政法人日本学術振興会
16	多発肺腺癌の発生に関わる遺伝的背景の基礎的研究	池田 公英	医学部附属病院	400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
17	最重症くも膜下出血に対する多角的治療戦略	甲斐 豊	医学部附属病院	1,692,390	補委 独立行政法人日本学術振興会
18	ストレス惹起インスリン抵抗性に伴う血管内皮障害への硫化水素による治療戦略	杉田 道子	医学部附属病院	2,900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
19	上皮性卵巣癌における局所的エストロゲン活性調節機構の解明	本原 研一	医学部附属病院	1,300,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
20	頭頸部扁平上皮癌における細胞接着阻害分子ポドカリキシンの発現、および機能の解析	村上 大造	医学部附属病院	2,068,570	補委 独立行政法人日本学術振興会
21	高解像度内圧計を用いた正常および喉頭麻痺患者の嚥下動態に関する基礎的臨床的研究	蛟島 靖浩	医学部附属病院	1,106,562	補委 独立行政法人日本学術振興会
22	子どもの疲労の神経基盤解明による治療法の開発－慢性疲労とPC・携帯電話依存の関連	川谷 淳子	医学部附属病院	2,483,153	補委 独立行政法人日本学術振興会
23	消化器癌におけるCDH3プロモーター領域の脱メチル化の意義	今井 克憲	医学部附属病院	1,464,199	補委 独立行政法人日本学術振興会
24	ポリアルギニンを用いたタンパク質導入法による内耳性難聴の治療	高村 惇	医学部附属病院	1,000,177	補委 独立行政法人日本学術振興会
25	臨床に即した喉頭麻痺モデル動物の作成と内喉頭筋の二重神経支配に関する研究	青山 猛	医学部附属病院	1,050,154	補委 独立行政法人日本学術振興会
26	円滑な診療諸記録入力に関連文書の作成支援機能を実現するシステムの開発	宇宿 功市郎	医学部附属病院	1,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
27	脂肪組織におけるTNF受容体切断酵素の同定とインスリン抵抗性改善への応用	本島 寛之	医学部附属病院	1,505,960	補委 独立行政法人日本学術振興会
28	cPLA2発現抑制による動脈硬化進展抑制効果と新規動脈硬化症治療法開発の試み	松村 剛	医学部附属病院	1,205,252	補委 独立行政法人日本学術振興会
29	病因抗原が未知の自己免疫疾患に対する組織抗原特異的免疫抑制療法の開発	平田 真哉	医学部附属病院	1,999,037	補委 独立行政法人日本学術振興会
30	新生児虚血脳に対するbFGFおよびEGFによる神経再生治療	岩井 正憲	医学部附属病院	1,303,306	補委 独立行政法人日本学術振興会
31	出血傾向を有した産科危機的出血に対する永久塞栓物質を用いた子宮動脈塞栓術の検討	池田 理	医学部附属病院	2,237,219	補委 独立行政法人日本学術振興会

32	2光子励起レーザー顕微鏡を用いた新たな肝移植後拒絶反応の時空間的メカニズム解析	武市 卒之	医学部附属病院	1,631,090	補委	独立行政法人日本学術振興会
33	本邦における分割肝移植医療の基盤整備に関する研究	阪本 靖介	医学部附属病院	1,534,073	補委	独立行政法人日本学術振興会
34	消化器癌におけるlincRNAの網羅的発現解析ならびに機能解析	日吉 幸晴	医学部附属病院	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
35	microRNA-genepathwayを介した胃癌トラスツマブ耐性機序の解明	岩槻 政晃	医学部附属病院	1,562,538	補委	独立行政法人日本学術振興会
36	正常胃粘膜上皮および胃癌におけるSPINK1の機能解析	尾崎 宣之	医学部附属病院	1,875,800	補委	独立行政法人日本学術振興会
37	消化器癌の発育進展に関与する脂質代謝メカニズムの解明と新規治療法の開発	石川 晋之	医学部附属病院	1,416,856	補委	独立行政法人日本学術振興会
38	肝細胞癌進展におけるTGFβ-Hippoシグナルのクロストークに関する研究	藏元 一崇	医学部附属病院	1,713,431	補委	独立行政法人日本学術振興会
39	癌細胞におけるC5aRの発現と機能解析と新しい治療法の開発	新田 英利	医学部附属病院	1,655,754	補委	独立行政法人日本学術振興会
40	悪性脳腫瘍におけるハイパーメタボリズムを標的にした新たな診断、治療戦略の考案	牧野 敬史	医学部附属病院	1,670,103	補委	独立行政法人日本学術振興会
41	限局性皮質形成異常を標識する術中分子イメージング法の開発	浜崎 禎	医学部附属病院	1,450,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
42	電気刺激により悪性グリオーマの増殖を制御する	山田 和慶	医学部附属病院	1,783,704	補委	独立行政法人日本学術振興会
43	グリオーマ幹細胞を標的とした間葉系幹細胞による新規治療法の開発	篠島 直樹	医学部附属病院	2,090,670	補委	独立行政法人日本学術振興会
44	膜透過性ペプチドを用いた悪性神経膠腫瘍幹細胞に対する治療の実現化の研究	中村 英夫	医学部附属病院	1,799,527	補委	独立行政法人日本学術振興会
45	機械的ストレスの軟骨変性誘導における小胞体ストレスの発生と病態生理に関する研究	廣瀬 隼	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
46	Smad3抑制による癒痕声帯の治療法開発	増田 聖子	医学部附属病院	1,781,523	補委	独立行政法人日本学術振興会
47	家族性眼アミロイドーシスの早期発見と手術合併症の克服に関する研究	川路 隆博	医学部附属病院	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
48	糖尿病眼合併症におけるANGPTL2の機能に関する研究	伊藤 康裕	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
49	心停止後症候群の新たな予後予測バイオマーカーの確立	笠岡 俊志	医学部附属病院	1,518,324	補委	独立行政法人日本学術振興会
50	癌幹細胞に着目した口腔癌の新たな治療戦略-SALL4の治療への応用-	太田 和俊	医学部附属病院	1,205,795	補委	独立行政法人日本学術振興会
51	新規口腔癌ペプチドワクチン療法の開発と臨床効果判定バイオマーカーの同定	吉武 義泰	医学部附属病院	1,385,591	補委	独立行政法人日本学術振興会
52	尿毒症物質産生阻害薬探索のためのヒト人工多能性幹(iPS)細胞由来肝細胞の構築	齋藤 秀之	医学部附属病院	1,441,185	補委	独立行政法人日本学術振興会
53	NAAG分解酵素阻害薬の臨床応用に向けての基礎研究	山田 寿彦	医学部附属病院	2,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
54	DPP-4阻害剤による動脈硬化退縮と内皮機能改善の臨床評価とそのメカニズムの検討	松原 純一	医学部附属病院	1,268,137	補委	独立行政法人日本学術振興会
55	プロテオミクスと組織化学を駆使したCADASILの原因物質の同定	植田 明彦	医学部附属病院	1,275,142	補委	独立行政法人日本学術振興会
56	小胞体ストレスは運動ニューロン変性において本質的であるか?	森 麗	医学部附属病院	1,187,457	補委	独立行政法人日本学術振興会
57	新規毛周期調節因子Tsukushiによる毛髪再生メカニズムの解明	新森 大佑	医学部附属病院	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
58	意味性認知症における異食と視覚性の意味記憶障害	松下 正輝	医学部附属病院	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
59	認知症患者におけるhypersexualityのメカニズムに関する研究	矢田部 祐介	医学部附属病院	1,886,828	補委	独立行政法人日本学術振興会
60	泡沫硬化剤を用いた経皮経肝的門脈塞栓術の臨床的有用性、安全性に関する検討	中曾根 豊	医学部附属病院	1,166,464	補委	独立行政法人日本学術振興会
61	転写因子AP-1阻害剤による胃癌微小環境を標的とした新しい腹膜播種治療法の確立	藏重 淳二	医学部附属病院	26,934	補委	独立行政法人日本学術振興会
62	食道扁平上皮癌におけるmTOR発現とヘッジホッグシグナル経路の相互作用の解明	平島 浩太郎	医学部附属病院	1,592,238	補委	独立行政法人日本学術振興会
63	一側喉頭麻痺に対する神経筋移植術後の声域と声帯振動の検討	兒玉 成博	医学部附属病院	874,924	補委	独立行政法人日本学術振興会
64	Sox9コンディショナルノックアウトマウスを用いた胆道閉鎖症の病因・病態解析	須田 博子	医学部附属病院	1,004,390	補委	独立行政法人日本学術振興会
65	FAPの発症を規定する断片化TTRの形成機構の解明および新規病態マーカーの開発	植田 光晴	医学部附属病院	1,292,050	補委	独立行政法人日本学術振興会

66	遺伝子改変ヒトiPS細胞由来マクロファージを用いた悪性黒色腫に対する免疫療法	福島 聡	医学部附属病院	1,700,379	補委	独立行政法人日本学術振興会
67	大動脈瘤発生のメカニズム解明による新たな大動脈瘤破裂予測因子の発見	田爪 宏和	医学部附属病院	1,525,381	補委	独立行政法人日本学術振興会
68	皮膚がんにおけるアンジオポエチン様因子2の機能およびメカニズムの解析	青井 淳	医学部附属病院	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
69	全身性強皮症の病態におけるmicroRNA let-7aの関与の検討	牧野 雄成	医学部附属病院	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
70	医学生の参加型臨床実習と手術成績に関する地域共同のプロスペクティブ研究	石河 隆敏	医学部附属病院	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
71	大腸癌の浸潤・転移におけるCdh1の役割の解明	直江 秀昭	医学部附属病院	2,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
72	近位側大腸の鋸歯状腺腫(SSAP)に対する分子生物学的解析	庄野 孝	医学部附属病院	2,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
73	アセタゾラミドおよびカナグリフロジンによる糖尿病性腎症発症抑制効果の検討	中山 裕史	医学部附属病院	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
74	Apop遺伝子制御によるメタボリックシンドローム抑制療法の創出	安田 修	医学部附属病院	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
75	HIV感染におけるケモカイン受容体の挙動及び受容体阻害剤に関する研究	中田 浩智	医学部附属病院	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
76	先天性無痛無汗症の中樞神経病態と神経成長因子依存性ニューロンの生理学的機能	犬童 康弘	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
77	低被ばく心臓CTにおけるモデル型逐次近似再構成法によるブランク性状評価の検討	幸 秀明	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
78	時系列カラー表示ASL-MRAの基礎的・臨床的研究	西村 振一郎	医学部附属病院	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
79	消化器癌におけるエピゲノム関連酵素TETファミリーおよび5-hmCの解析	宮成 信友	医学部附属病院	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
80	microRNAを介した胃癌における抗HER2抗体耐性機序の解明	林 尚子	医学部附属病院	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
81	内臓肥満が大腸癌の進展に与える影響とそのメカニズムの解析	宮本 裕士	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
82	肝内胆管癌におけるCDH3の発現とRho familyとの関連	堀野 敬	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
83	肝血流低下による肝萎縮機構の解明とLSKLpeptideを用いた新規治療法の開発	生田 義明	医学部附属病院	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
84	FXR agonistを用いた肝切除後肝再生促進療法の臨床応用を見据えた基礎研究	高森 啓史	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
85	次世代シーケンサーを利用した膠芽腫の治療抵抗性と再発に関連する遺伝子変異の探索	秀 拓一郎	医学部附属病院	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
86	房水流出路の4次元イメージングと緑内障病態における動的変化に関する研究	井上 俊洋	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
87	AutophagyによるARDS制御機構解明とmicroRNAによる治療法開発	田代 貴大	医学部附属病院	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
88	口腔扁平上皮癌における遠隔転移マーカーの同定及び解析	田中 拓也	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
89	自己組織化を利用したオンチップ血管モデルの開発—血管生理・病態の再現と理解	西山 功一	医学部附属病院	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
90	認知症患者を支える家族の介護負担感が患者に及ぼす影響に関する縦断的研究	小山 明日香	医学部附属病院	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
91	心血管疾患におけるHb α およびCYB5R3の役割	菅村 公一	医学部附属病院	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
92	Sirt7による脂質ラフト制御機構の解明	荒木 智	医学部附属病院	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
93	細胞外マトリックスリモデリングを利用したトランスサイレチンアミロイドの分解・除去	三隅 洋平	医学部附属病院	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
94	iPSマクロファージを利用したアミロイドポリニューロパチーのアミロイド除去療法	高松 孝太郎	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
95	封入体筋炎をモデルとした異常蛋白凝集体病の病態解明	俵 明恵	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
96	隆起性皮膚線維肉腫発症に関与するmicroRNAの発現異常とシグナル伝達活性化	梶原 一亨	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
97	肝定位放射線治療における機能的線量体積ヒストグラムと肝機能障害予測システムの開発	東家 亮	医学部附属病院	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
98	脳悪性神経膠腫の放射線治療期間中の腫瘍変位および適応放射線治療の導入に関する研究	松山 知彦	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
99	肝細胞癌進展におけるポリコーム蛋白を介したマイクロRNAの作用機序解明	増田 稔郎	医学部附属病院	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

100	オートファジー抑制による新たな膀胱癌治療法の開発	橋本 大輔	医学部附属病院	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
101	マウスラセン神経節細胞におけるTis21の細胞保護作用	伊勢 桃子	医学部附属病院	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
102	蝸牛の発生・分化を司る遺伝子システムにおけるTis21遺伝子の役割解明	草場 雄基	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
103	口腔扁平上皮癌幹細胞と関連するマイクロRNAの機能解析と新規治療法の開発	吉田 遼司	医学部附属病院	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
104	アポトーシス関連因子IAPによる抗がん剤耐性機構の解明と新規治療法の開発	永田 将士	医学部附属病院	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
105	口腔癌の抗がん剤および放射線耐性に関与するエピゲノム異常の解明と個別化治療への応用	廣末 晃之	医学部附属病院	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
106	ヒト糖尿病1a型iPS細胞における遺伝子修復法の確立と新規の病態解析	城戸 淳	医学部附属病院	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
107	口腔癌における術後アジュバンドペプチドワクチン療法の臨床応用と治療効果の検討	篠原 正徳	医学部附属病院	901,499	補委	独立行政法人日本学術振興会
108	硫酸抱合型尿毒症物質の肝合成阻害を機軸とする腎保護・尿毒症治療薬のシーズ創出	齋藤 秀之	医学部附属病院	2,903,614	補委	独立行政法人日本学術振興会
109	癌治療の個別化への道を切り開く予後規定因子CYLD発現消失の分子機能動態の解明	城野 博史	医学部附属病院	1,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
110	HIV-1の薬剤・免疫耐性変異獲得機序の解明と新規治療法を目指した基盤的研究	中田 浩智	医学部附属病院	4,800,000	補委	厚生労働省
111	認知症のための縦断型連携パスを用いた医療と介護の連携に関する研究	橋本 衡	医学部附属病院	400,000	補委	厚生労働省
112	医療的ニーズのある在宅重度障害者に対する喀痰吸引等提供事業所の拡大支援のための重層的医療支援モデルの開発	松葉佐 正	医学部附属病院	3,517,000	補委	厚生労働省
113	多剤耐性HIV変異株に強力で高い中枢神経系透過性を有する新規抗HIV薬の開発	宮川 寿一	医学部附属病院	2,000,000	補委	厚生労働省
114	臨床研究に活用するiPS細胞の安定性・安全性を保持した保存体制の確立	松本 志郎	医学部附属病院	1,000,000	補委	厚生労働省
115	外来因子フリー難病由来iPS細胞のライブラリー構築とそれを使った疾患モデルと薬剤開発	松本 志郎	医学部附属病院	2,000,000	補委	厚生労働省
116	プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	野村 恵子	医学部附属病院	200,000	補委	厚生労働省
117	小児期からの希少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究	阪本 靖介	医学部附属病院	200,000	補委	厚生労働省
118	アミロイドーシスに関する調査研究	植田 光晴	医学部附属病院	300,000	補委	厚生労働省
119	日本人の急性心筋梗塞の病態や治療に関するエビデンスの構築	小島 淳	医学部附属病院	500,000	補委	文部科学省
120	かたちをつくる血管細胞の集団的ふるまいと制御系の理解	西山 功一	医学部附属病院	3,600,000	補委	文部科学省
121	膠芽腫幹細胞ニッチで特異的に変化するマイクロRNAを標的とした新規治療法の創出	秀 拓一郎	医学部附属病院	3,000,000	補委	文部科学省
122	冠動脈固有の側副血行路形成過程を理解するための基礎研究と種間の相同性の探索	有馬 勇一郎	医学部附属病院	1,000,000	補委	文部科学省
123	ヒトグリオーマ初代培養株を用いた悪性グリオーマに対する局所治療法の開発	竹崎 達也	医学部附属病院	1,000,000	補委	文部科学省
124	酢酸アルミニウム溶液(ブロー液)の内耳毒性に関する研究	菅村 真由美	医学部附属病院	1,000,000	補委	文部科学省
125	腎集合尿管間細胞における酸塩基平衡関連遺伝子発現の調節機序の解明	泉 裕一郎	医学部附属病院	1,100,000	補委	文部科学省
126	食道癌におけるWarburg effect関連遺伝子と抗がん剤耐性に関する検討	澤山 浩	医学部附属病院	1,100,000	補委	文部科学省
127	口腔扁平上皮癌における細胞外基質を介した抗がん剤耐性機構解明と新規治療法の開発	中川 純泰	医学部附属病院	1,100,000	補委	文部科学省
128	腫瘍特異的CTLとヘルパーT細胞を活性化するがんペプチドワクチンの開発	湯野 晃	医学部附属病院	1,100,000	補委	文部科学省
129	口腔癌における術後アジュバンドペプチドワクチン療法の臨床応用と治療効果の検討	篠原 正徳	医学部附属病院	2,300,000	補委	文部科学省
130	硫酸抱合型尿毒症物質の肝合成阻害を機軸とする腎保護・尿毒症治療薬のシーズ創出	齋藤 秀之	医学部附属病院	2,800,000	補委	文部科学省
131	癌治療の個別化への道を切り開く予後規定因子CYLD発現消失の分子機能動態の解明	城野 博史	医学部附属病院	2,800,000	補委	文部科学省
132	介護施設、一般病院におけるBPSD初期対応の効果検証に関する研究	橋本 衡	医学部附属病院	550,000	補委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
133	虚血性心疾患における心電図同期SPECT(QGS)検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究-4 冠血行再建術による心血管イベントリスクの減少効果を負荷心筋血流SPECTを用いた虚血量定量で評価するための調査研究(J-ACCESS IV)	菅村 公一	医学部附属病院	16,616	補委	公益財団法人循環器病研究振興財団

134	治験の実施に関する研究[A型ボツリヌス毒素]	讃岐 徹治	医学部附属病院	524,480	補委	公益社団法人日本医師会
135	平成26年度環境研究総合推進費(PM2.5成分および黄砂が循環器・呼吸器疾患に及ぼす短期曝露影響に関する研究((4)大気中粒子が救急搬送に及ぼす影響の疫学研究))による研究委託業務	笠岡 俊志	医学部附属病院	2,319,161	補委	独立行政法人国立環境研究所
136	平成26年度環境研究総合推進費(PM2.5成分および黄砂が循環器・呼吸器疾患に及ぼす短期曝露影響に関する研究((5)粒子成分、黄砂の急性心筋梗塞・心肺停止発症に対する影響と高感受性集団に関する研究))による研究委託業務	小島 淳	医学部附属病院	4,326,168	補委	独立行政法人国立環境研究所
137	内転型痙攣性発症障害に対するチタンブリッジを用いた甲状軟骨形成術2型の効果に関する研究	讃岐 徹治	医学部附属病院	71,524,021	補委	厚生労働省
138	悪性神経膠腫患者における網羅的遺伝子解析に基づく臨床経過の調査	中村 英夫	医学部附属病院	2,978,726	補委	出水市病院事業
139	動脈硬化症の進行防止のための診療体系の確立に関する研究-冠動脈硬化の可視化・内皮機能障害の評価	辻田 賢一	医学部附属病院	360,936	補委	独立行政法人国立循環器病研究センター
140	本邦におけるHFpEFの実態に関する他施設共同調査研究-心機能データ解析	山室 恵	医学部附属病院	244,330	補委	独立行政法人国立循環器病研究センター
141	戦略的創造研究推進事業(チーム型研究(CREST))-血管網の自己組織化機構の解明	西山 功一	医学部附属病院	8,544,219	補委	独立行政法人科学技術振興機構
142	PU.1発現低下の骨髄腫発症への関与の解明	奥野 豊	生命科学部	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
143	これ迄の研究の総力を結集させたアミロイドーシスの早期診断・病態解析システムの開発	安東 由喜雄	生命科学部	2,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
144	一側喉頭麻痺の病態に関する基礎的臨床的研究	湯本 英二	生命科学部	2,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
145	上皮性卵巣癌における癌幹細胞とニッチを標的とした新規治療戦略	片渕 秀隆	生命科学部	4,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
146	生理活性物質の動的均衡制御とリアルタイムイメージング技術開発による緑内障治療研究	谷原 秀信	生命科学部	5,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
147	消化器癌幹細胞の特性を制御するmicroRNAの同定と治療への応用	馬場 秀夫	生命科学部	4,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
148	ダルナビル等に対するHIV高度耐性の分子力学的解析と新規プロテアーゼ阻害剤開発	満屋 裕明	生命科学部	5,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
149	膀胱癌に対するキラーおよびヘルパーT細胞とともに活性化するがん免疫療法の開発	江藤 正俊	生命科学部	6,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
150	微小環境がもたらす肝癌の治療抵抗性の獲得機構-融合プロテオミクスを用いた解析-	佐々木 裕	生命科学部	2,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
151	骨格筋由来分泌因子を用いた新規心不全治療法の開発とその臨床応用研究	小川 久雄	生命科学部	5,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
152	食道癌の新規バイオマーカー開発を目指したがん代謝のエピゲノム解析	馬場 祥史	生命科学部	7,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
153	家族性アミロイドポリニューロパシーの予防及び治療のための抗体医薬品の開発	安東 由喜雄	生命科学部	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
154	血管内皮細胞障害におけるミトコンドリア機能の役割検討と臨床評価、新治療の探索	杉山 正悟	生命科学部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
155	2光子励起顕微鏡を用いた小腸虚血再灌流障害時における好中球動態の解析	本田 正樹	生命科学部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
156	生活習慣病関連腎症の発症・進展における臓器・細胞連関と内分泌因子の意義	向山 政志	生命科学部	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
157	APP修飾認知症モデル動物における脳内インスリン作用と認知機能障害機序の解析	河島 淳司	生命科学部	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
158	食道扁平上皮癌に対する第3世代PPAR γ agonistの抗腫瘍効果・機序の解明	吉田 直矢	生命科学部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
159	乳癌内分泌療法の効果予測を目的とした多遺伝子発現の定量的評価ツールの開発	岩瀬 弘敬	生命科学部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
160	脳動脈瘤の発生、破裂に関する慢性炎症の関与とその薬物療法開発に関する基礎研究	河野 隆幸	生命科学部	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
161	免疫栄養(エイコサペンタエン酸)を用いた口腔癌転移抑制の実験動物における研究	尾木 秀直	生命科学部	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
162	脱神経後声帯筋線維のアポトーシスと筋衛星細胞のアポトーシス抑制に関する基礎研究	熊井 良彦	生命科学部	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
163	人工膵島への応用を見据えた血管内留置型センサによる連続血糖計測システムの開発	下田 誠也	生命科学部	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
164	小胞体ストレスに着目した筋萎縮性側索硬化症の治療法開発	山下 賢	生命科学部	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
165	認知症におけるアパシーの神経基盤に関する研究	池田 学	生命科学部	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
166	骨格筋由来ホルモンによる心腎連関の新たな治療介入	泉家 康宏	生命科学部	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
167	CKDの進展に係わるセリンプロテアーゼ群の網羅的同定とその分子機盤の解明	北村 健一郎	生命科学部	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

168	線維化におけるTGF- β 情報伝達の関与についての分子基盤の解明	尹 浩信	生命科学部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
169	p27によるマクロファージ増殖制御の糖尿病・動脈硬化における生理学的意義の解明	瀬ノ口 隆文	生命科学部	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
170	マイクロRNA解析と髄膜腫幹細胞の機能制御に基づく悪性髄膜腫の新規治療法の開発	矢野 茂敏	生命科学部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
171	胆道閉鎖症の病因・病態におけるSox9遺伝子の関与に関する検討	猪股 裕紀洋	生命科学部	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
172	唾液腺幹細胞を用いた機能障害唾液腺修復モデルの確立と臨床への応用	平木 昭光	生命科学部	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
173	上位中枢におけるプレガバリン・ガバペンチンによる鎮痛発現機序	山本 達郎	生命科学部	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
174	プロテアーゼおよび酸化ストレスによるヴィシヤスサイクルメカニズムの解明	白石 直樹	生命科学部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
175	心臓4次元CTを導入した心拍動下冠動脈バイパス術前ナビゲーションシステムの開発	宇都宮 大輔	生命科学部	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
176	悪性脳腫瘍に対するDDS製剤を用いた個別化治療に向けての基礎的検討	黒田 順一郎	生命科学部	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
177	加齢黄斑変性症における上皮間葉転換のレドックス制御を標的とした創薬への基盤研究	猪俣 泰也	生命科学部	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
178	再灌流障害における責任冠動脈粥腫性状および微小循環障害の関与と至適治療戦略の開発	辻田 賢一	生命科学部	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
179	多発性骨髄腫及びホジキンリンパ腫のPU.1発現誘導を利用した治療応用の基礎研究	奥野 豊	生命科学部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
180	筋幹細胞の休止期を保つためのメカニズムの解明	木村 重美	生命科学部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
181	心臓専用半導体SPECT装置を用いた心筋血流量及び冠血管予備能の定量化と臨床応用	白石 慎哉	生命科学部	2,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
182	多発肺腺癌とエストロゲン代謝関連遺伝子多型、肺組織中エストロゲン濃度の関連	白石 健治	生命科学部	2,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
183	メカニカルストレスに対する軟骨細胞の小胞体ストレス応答の解明	水田 博志	生命科学部	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
184	網膜再生にかかわる傷害組織再構築を制御する細胞間相互作用に関する研究	福島 美紀子	生命科学部	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
185	Pax8-rtTA/LC-1システムを用いた腎尿管近位側プロスタシンの機能解明	柿添 豊	生命科学部	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
186	グルカゴンとmtPKAを介した活性酸素発現機序の解明と糖尿病合併症治療への応用	西川 武志	生命科学部	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
187	熱ショック応答経路活性化による抗炎症効果の分子メカニズム解析	近藤 龍也	生命科学部	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
188	位相差強調画像法を用いたアミロイドイメージングの開発	平井 俊範	生命科学部	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
189	乳酸菌による体細胞の多能性能獲得過程におけるエピゲノム解析	河野 利恵	生命科学部	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
190	細胞形質転換に関わる乳酸菌由来因子の同定	太田 訓正	生命科学部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
191	反回神経の再生における標的特異性と過誤神経支配に関する基礎的研究	湯本 英二	生命科学部	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
192	大腸癌肝転移巣における抗癌剤感受性関連遺伝子の網羅的ゲノム・エピゲノム解析	馬場 秀夫	生命科学部	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
193	経子宮的マウス内耳へのアプローチ法の確立	養田 涼生	生命科学部	2,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
194	腎細胞癌に対するImmune checkpoint阻害薬を用いた新規治療法の開発	江藤 正俊	生命科学部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
195	緑内障術後結膜下組織における炎症細胞の4次元イメージング	谷原 秀信	生命科学部	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
196	全身性強皮症における免疫抑制療法的作用機序の検討	牧野 貴充	生命科学部	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
197	卵巣癌における癌幹細胞マーカーEpCAMの機能解析:卵巣癌新規治療戦略の開発	本原 剛志	生命科学部	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
198	TGF- β および炎症性サイトカインシグナルを分子基盤とした房水流出機構の解析	井上 みゆき	生命科学部	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
199	新規腎線維化促進因子Angptl2の機能解明と臨床応用	森永 潤	生命科学部	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
200	尋常性乾癬におけるmicroRNAの発現および情報伝達経路解析	市原 麻子	生命科学部	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
201	肝炎・肝癌誘導因子LT β の発現を制御する高次エピゲノム構造の解析とその臨床応用	渡邊 丈久	生命科学部	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
202	高精度3次元自動計測ソフトウェアを用いたCT TAVI-Planningの開発	尾田 済太郎	生命科学部	1,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

203	網膜色素上皮細胞における上皮間葉転換と生物学的意義	高橋 枝里	生命科学研究所	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
204	肝内胆管癌におけるTGF-β活性化機構に着目した癌進展機構の解明	林 洋光	生命科学研究所	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
205	術前ホルモン療法の効果予測を目的とした包括的治療反応性予測ツールの開発	指宿 睦子	生命科学研究所	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
206	自然炎症とレニン・アンジオテンシン系の相互作用が糖尿病腎症悪化に果たす意義の解明	桑原 孝成	生命科学研究所	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
207	アミロイドーシスに関する調査研究	安東 由喜雄	生命科学研究所	10,000,000	補委	厚生労働省
208	強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業	尹 浩信	生命科学研究所	11,231,000	補委	厚生労働省
209	新しい先天代謝異常症スクリーニング時代に適応した治療ガイドラインの作成および生涯にわたる診療体制の確立に向けた調査研究	遠藤 文夫	生命科学研究所	8,000,000	補委	厚生労働省
210	認知症のための縦断型連携パスを用いた医療と介護の連携に関する研究	池田 学	生命科学研究所	5,800,000	補委	厚生労働省
211	B型肝炎ウイルス感染症に対する新規の治療薬の研究・開発	満屋 裕明	生命科学研究所	239,231,000	補委	厚生労働省
212	がん医療水準均てん化推進事業(医療従事者向け研修会)がん医療ネットワークナビゲーター:育成制度と資格認定	片渕 秀隆	生命科学研究所	780,390	補委	厚生労働省
213	アジアにおける若年性認知症の地域ケアシステムに関する研究(国際共同研究事業)	池田 学	生命科学研究所	1,999,900	補委	厚生労働省
214	術後補助化学療法におけるフッ化ピリミジン系薬剤の有用性に関する比較臨床試験(治癒切除直腸癌に対するUFT療法とTS-1療法の比較検討)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補委	財団法人がん集学的治療研究財団
215	StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのUFT/Leucovorin療法とTS-1療法のⅢ相比較臨床試験および遺伝子発現に基づく効果予測因子の探索的研究	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補委	財団法人先端医療振興財団
216	「StageⅡ大腸癌に対する術後補助化学療法に関する研究」Ⅲ相臨床試験	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補委	財団法人先端医療振興財団
217	StageⅡ大腸癌における分子生物・病理学的マーカーによる再発high-risk群とフッ化ピリミジン感受性群の選択に関する研究	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補委	財団法人先端医療振興財団
218	局所進行直腸癌に対するTS-1/CPT-11併用術前化学放射線療法臨床第Ⅰ相試験	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補委	特定非営利活動法人東京がん化学療法研究会
219	治癒切除結腸癌(StageⅢ)を対象としたフッ化ピリミジン系薬剤を用いた術後補助化学療法の個別化治療に関するコホート研究	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補委	財団法人先端医療振興財団
220	進行再発肺腺癌におけるゲフィチニブとエルロチニブのランダム化Ⅲ相臨床試験(WJOG5108L)	興梠 博次	研究部(医)	0	補委	特定非営利活動法人西日本がん研究機構
221	化学療法未施行ⅢB/Ⅳ期・術後再発肺扁平上皮癌に対するネダプラチン+ドセタキセル併用療法とシスプラチン+ドセタキセル併用療法の無作為比較Ⅲ相臨床試験(WJOG5208L)	興梠 博次	研究部(医)	0	補委	特定非営利活動法人西日本がん研究機構
222	大腸癌肝転移(H2,H3)に対するmodified FOLFOX6+BV(bevacizumab)療法後の肝切除の有効性と安全性の検討(TRICC0808)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補委	財団法人先端医療振興財団
223	StageⅡ/Ⅲ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法の認容性に関する検討(JFMC41-1001-C2)	馬場 秀夫	研究部(医)	16,616	補委	財団法人がん集学的治療研究財団
224	65歳以上の高齢者2型糖尿病における、シタグリプチンあるいはグリメピリドによる有効性および安全性に関する比較検討試験(START-J)	荒木 栄一	研究部(医)	41,539	補委	社団法人日本糖尿病協会/サイトサポート・インスティテュート株式会社
225	「切除不能進行・再発大腸癌に対する一次治療としてのFOLFOXまたはFOLFIRI+panitumumab併用療法の有効性・安全性に関する検討-第Ⅱ相試験-(研究略称:PaPF-J)」	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補委	財団法人先端医療振興財団
226	上皮成長因子受容体遺伝子変異(Exon 19 deletionまたはExon 21 point mutation)がない、または不明である非扁平上皮小細胞肺癌に対するカルボプラチン+ペメトレキセド+ベバシズマブ併用療法施行後、維持療法として、ペメトレキセド+ベバシズマブ併用療法をベバシズマブ単剤と比較するⅢ相臨床試験(WJOG5610L)	興梠 博次	研究部(医)	0	補委	特定非営利活動法人西日本がん研究機構
227	慢性心不全患者に対するadaptive-servo ventilatorに関するランダム化比較試験(SAVIOR-C)	小川 久雄	研究部(医)	161,538	補委	財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
228	HER2陽性・65歳以上の進行再発胃癌に対するティーエスワン+トラズズマブ併用療法の第Ⅱ相試験	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補委	特定非営利活動法人日本がん臨床試験推進機構
229	脳動脈瘤塞栓術におけるHydrogel coilの塞栓効果に関する多施設共同無作為比較試験(HYBRID study)	平井 俊範	研究部(医)	0	補委	公益財団法人先端医療振興財団
230	KRAS野生型切除可能大腸癌肝転移に対する術後補助化学療法mFOLFOX6と周術期化学療法mFOLFOX6+セツキシマブのⅢ相ランダム化比較試験(研究略称:EXPERT)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補委	公益財団法人先端医療振興財団
231	切除不能大腸癌1次治療におけるTS-1, irinotecan, bevacizumab併用療法の有用性を検証する臨床Ⅲ相試験(TRICOLORE)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補委	特定非営利活動法人東京がん化学療法研究会
232	(本体研究)StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化Ⅲ相比較臨床試験付随研究 ACHIEVE Trial(JFMC47-1202-C3) (付随研究)StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化Ⅲ相比較臨床試験付随研究	馬場 秀夫	研究部(医)	1,161,600	補委	財団法人がん集学的治療研究財団

233	思春期女性へのHPVワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18陽性割合の推移に関する長期疫学研究(第1期;2012年4月-2019年12月)(2013年契約)	片淵 秀隆	研究部(医)	85,385	補 委	公益財団法人国際科学振興財団 /株式会社イービーエムズ
234	ハイリスク消化管間質腫瘍(GIST)に対する完全切除後の治療に対する研究(研究略称:STAR ReGISTry)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補 委	公益財団法人先端医療振興財団
235	化学療法未施行ⅢB/Ⅳ期・術後再発肺扁平上皮癌に対するCBDCA+TS-1併用療法後のTS-1維持療法の無作為化第Ⅲ相試験(WJOG7512L)	興梠 博次	研究部(医)	0	補 委	特定非営利活動法人西日本がん 研究機構
236	肺癌術前化学療法としてのGemcitabine+S-1療法(GS療法)の第Ⅱ/Ⅲ相臨床試験(Prep-02/JSAP-05)	馬場 秀夫	研究部(医)	7,693	補 委	特定非営利活動法人日本臨床研 究支援ユニット
237	平成25年度子どもの健康と環境に関する全国調査南九州・沖縄ユニットセンター	加藤 貴彦	研究部(医)	0	補 委	環境省
238	局所進行直腸癌に対するTS-1/CPT-11併用術前化学放射線療法の臨床第Ⅱ相試験(SAMRAI-2 TRIAL)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補 委	特定非営利活動法人東京がん化 学療法研究会
239	組織修復及び免疫応答に基づく恒常性維持機構の変容による生活習慣病の病態解明	尾池 雄一	研究部(医)	32,700,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
240	抗EGFR抗体薬パニツムマブ投与歴のあるKRAS遺伝子野生型の切除不能進行・再発大腸癌に対する三次治療におけるパニツムマブ再投与の第Ⅱ相試験(JACCRO CC-09)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補 委	特定非営利活動法人日本がん臨 床試験推進機構
241	慢性冠動脈疾患患者におけるイコサペント酸エチルの二次予防効果の検討 Randomized trial for Evaluation in Secondary Prevention Efficacy of Combination Therapy - Statin and Eicosapentaenoic Acid (RESPECT-EPA)	小川 久雄	研究部(医)	0	補 委	一般社団法人生産開発科学研究 所
242	熊本型早産予防対策事業(産科分野)調査研究	大場 隆	研究部(医)	7,650,000	補 委	熊本県
243	マウスHDOCによる骨・腎臓調節機構の解明と病態での機能の解明	岩瀬 弘敬	研究部(医)	4,000,000	補 委	阿蘇市国民健康保険阿蘇中央病 院
244	Stage III 結腸癌に対する術後補助化学療法としてのS-1+Oxaliplatin(C-SOX)療法の効果・安全性確認試験(KSCC1303)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補 委	一般社団法人九州臨床研究支援 センター
245	StageⅢ治療切除胃癌症例におけるTS-1術後補助化学療法の子後子測因子および副作用発現の危険因子についての探索的研究(JACCRO GC-07AR)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補 委	特定非営利活動法人日本がん臨 床試験推進機構
246	乳癌における血清P53抗体の臨床的意義	岩瀬 弘敬	研究部(医)	700,000	補 委	阿蘇市国民健康保険阿蘇中央病 院
247	切除不能・再発結腸/直腸がん初回化学療法例に対するmFOLFOX6 + bevacizumab(BV)療法、または、XELOX + BV療法の治療感受性・耐性因子に関するバイオマーカー研究(WJOG7612GTR)	馬場 秀夫	研究部(医)	166,154	補 委	特定非営利活動法人西日本がん 研究機構
248	プロテオーム統合データベースの構築への調査	荒木 令江	研究部(医)	4,246,669	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
249	難治性ニューロパチーの新規治療の開発と評価	安東 由喜雄	研究部(医)	900,000	補 委	独立行政法人国立精神・神経医 療研究センター
250	眼咽頭筋ジストロフィーの臨床評価とレジストリーの構築、および効果的な運用に関する研究	山下 賢	研究部(医)	500,000	補 委	独立行政法人国立精神・神経医 療研究センター
251	切除不能な進行・再発大腸癌に対する2次治療としてのXELIRI with/without Bevacizumab療法とFOLFIRI with/without Bevacizumab療法の国際共同第Ⅲ相ランダム化比較試験(AXEPT試験)	馬場 秀夫	研究部(医)	76,924	補 委	特定非営利活動法人疫学臨床試 験研究支援機構(NPO法人 ECRIN)
252	思春期女性へのHPVワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18陽性割合の推移に関する長期疫学研究(第1期;2012年4月-2019年12月)(2014年契約)	片淵 秀隆	研究部(医)	0	補 委	公益財団法人国際科学振興財団 /クオールRD株式会社
253	課題番号25-14 「高齢者の視覚機能低下等に対する実態把握と予防・治療法の標準化に関する研究」 分担する研究項目 「緑内障」	谷原 秀信	研究部(医)	1,000,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究 センター
254	課題番号25-25 「Zarit介護負担尺度日本語版(J-ZBI)による介護負担評価:標準化による有用性の向上」 分担する研究項目 「認知症の疾患別、重症度別のJ-ZBIを用いた介護負担の検討・カットオフポイントの検討」	池田 学	研究部(医)	500,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究 センター
255	25-A-7 新規免疫療法の臨床応用へ向けた基盤整備に関する研究 分担研究課題:IPS細胞由来のミエロイド系免疫細胞を用いたがん治療法の開発	千住 覚	研究部(医)	2,000,000	補 委	独立行政法人国立がん研究セン ター
256	「中国との連携を基軸とした新興・再興感染症の研究:第二期」(高親和性モノクローナル抗体技術による感染症治療標的の解析)	阪口 薫雄	研究部(医)	1,000,000	補 委	国立大学法人東京大学医科学研 究所
257	消化器癌における「がん代謝」関連因子の網羅的解析	馬場 祥史	研究部(医)	700,000	補 委	阿蘇医療センター(旧阿蘇中央病 院)
258	循環調節分子の情報伝達機能解明に基づく病態改善のための新規アプローチの開発(分担課題名:循環器疾患における実質細胞-間質細胞クロストークの解明)	尾池 雄一	研究部(医)	1,200,000	補 委	独立行政法人国立循環器病研究 センター
259	本邦におけるHfPpEFの実態に関する他施設共同調査研究(分担課題名:新機能データ解析)	山室 恵	研究部(医)	250,000	補 委	独立行政法人国立循環器病研究 センター

260	tRNA修飾異常に起因した2型糖尿病のコンパニオン診断薬開発を目指した臨床研究	富澤 一仁	研究部(医)	46,000,000	補 委	厚生労働省
261	強皮症の病態解明および革新的医薬品開発の研究	尹 浩信	研究部(医)	36,000,000	補 委	厚生労働省
262	動脈硬化症の進行防止のための診療体系の確立に関する研究(分担課題名:血糖変動と動脈硬化性疾患の関連解析)	掃本 誠治	研究部(医)	1,500,000	補 委	独立行政法人国立循環器病研究センター
263	呼吸器感染症、ならびに敗血症における血中プロカルシトニン測定の臨床的意義の検討	興梠 博次	研究部(医)	700,000	補 委	阿蘇医療センター(旧阿蘇中央病院)
264	胃癌腹膜播種のメカニズムに関する研究	馬場 秀夫	研究部(医)	3,000,000	補 委	出水市病院事業
265	半導体SPECTによる心筋血流の定量化の研究	白石 慎哉	研究部(医)	1,000,000	補 委	出水市病院事業
266	オーファン受容体であるGPR103の侵害刺激伝達における役割	山本 達郎	研究部(医)	2,000,000	補 委	出水市病院事業
267	有痛性腫瘍病変への放射線治療の疼痛緩和効果を評価する観察研究	大屋 夏生	研究部(医)	1,000,000	補 委	出水市病院事業
268	iPS細胞ストックを基盤とする進行胃がんに対する免疫細胞療法の開発	千住 覚	研究部(医)	30,000,000	補 委	厚生労働省
269	皮膚悪性腫瘍の転移に関する研究	尹 浩信	研究部(医)	1,000,000	補 委	出水市病院事業
270	転移性前立腺癌に対するGnRH アンタゴニスト単剤療法とGnRH アゴニストCAB 療法のランダム化比較試験(KYUCOG-1401)	江藤 正俊	研究部(医)	0	補 委	一般社団法人九州臨床研究支援センター
271	成人肝臓移植術後の消化管障害に対するTJ-100 ツムラ大建中湯(医療用)の有効性に関する検討-多施設共同による二重盲検無作為化比較臨床試験-	猪俣 裕紀洋	研究部(医)	0	補 委	国立大学法人京都大学
272	根治切除可能な進行直腸癌に対する術前化学療法としてのSOX 療法とmFOLFOX6 療法の有用性の検討-ランダム化第II相臨床試験-(KSCC1301)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補 委	一般社団法人九州臨床研究支援センター
273	切除不能進行・再発大腸癌患者におけるレゴラフェニブによる疲労・倦怠感に対する経口ステロイド剤予防療法の検討-無作為化、プラセボ対照、二重盲検、第II相臨床試験(KSCC1402)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補 委	一般社団法人九州臨床研究支援センター
274	新生児タンデムマススクリーニング対象疾患の診療ガイドライン改訂、診療の質を高めるための研究	遠藤 文夫	研究部(医)	1,500,000	補 委	国立大学法人岐阜大学
275	生体並びに脳死下小腸移植技術の確立と標準化の研究	阪本 靖介	研究部(医)	0	補 委	大阪府立母子健康総合医療センター
276	孤発性ALS患者大規模前向きコホートの臨床バイオリソース・ゲノム遺伝子・不死化細胞を用いた病態解明、治療法開発研究	池田 学	研究部(医)	4,000,000	補 委	国立大学法人名古屋大学
277	多施設共同研究による肝移植後肝炎ウイルス新規治療の確立と標準化	猪俣 裕紀洋	研究部(医)	0	補 委	国立大学法人九州大学
278	大腸がん肝転移切除例に適した新規抗がん剤を用いた術後補助化学療法の研究	馬場 秀夫	研究部(医)	500,000	補 委	愛知県がんセンター
279	難治性がんの間質を標的にした分子イメージング法の開発	倉津 純一	研究部(医)	1,000,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
280	日本人女性のエストロゲンレセプター陽性乳癌の発症予防に向けた高危険群選別モデルの開発	岩瀬 弘敬	研究部(医)	1,500,000	補 委	国立大学法人北海道大学
281	免疫機構をターゲットとした創薬「iPS細胞を利用した免疫細胞医薬の開発」	西村 泰治	研究部(医)	18,181,819	補 委	文部科学省
282	健やかな妊娠・出産に係る啓発事業	大場 隆	研究部(医)	1,100,000	補 委	熊本県
283	水俣病の自然歴の実態調査	安東 由喜雄	研究部(医)	1,500,000	補 委	熊本県
284	水俣病脳病変におけるミクログリア/マクロファージの活性化の解析	竹屋 元裕	研究部(医)	1,500,000	補 委	熊本県
285	冠動脈ステント留置術後12ヶ月超を経た心房細動患者に対するワーファリン単剤療法の妥当性を検証する多施設無作為化試験【OAC-ALONE Study: Optimizing Antithrombotic Care in patients with Atrial fibrillation and coronary stEnt study】	小川 久雄	研究部(医)	0	補 委	一般財団法人生産開発科学研究所
286	平成26年度子どもの健康と環境に関する全国調査に係るパイロット調査(南九州・沖縄ユニットセンター)委託業務	加藤 貴彦	研究部(医)	4,821,191	補 委	独立行政法人国立環境研究所
287	家族性アルツハイマー病に関する縦断的観察コホート研究	池田 学	研究部(医)	1,000,000	補 委	公立大学法人大阪市立大学
288	乳酸菌性因子を用いた細胞のリプログラミング機構	太田 訓正	研究部(医)	500,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
289	効果的な複合免疫療法の開発(ワクチンと制御性Tリンパ球抑制によるATLの新規複合免疫療法構築)「HBZの主要エピトープの詳細な解析」	栗井 博丈	研究部(医)	1,000,000	補 委	国立大学法人京都大学
290	静脈血栓塞栓症前向き追跡研究(AKAFUJI study)	辻田 賢一	研究部(医)	0	補 委	国立大学法人三重大学医学部附属病院
291	ICTを利用した認知症ケアのための情報収集・蓄積とグッドプラクティス自動抽出システムの開発と検証研究	池田 学	研究部(医)	1,600,000	補 委	国立大学法人大阪大学
292	切除不能KRAS 野生型大腸癌に対する1次療法としてのセツキシマブ+IRIS 療法に関する第I/II相臨床試験(KSCC1401)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補 委	一般社団法人九州臨床研究支援センター

293	平成26年度子どもの健康と環境に関する全国調査南九州・沖縄ユニットセンター委託業務	加藤 貴彦	研究部(医)	155,856,832	補 委	環境省
294	切除不能進行・再発大腸癌におけるRAS 遺伝子変異型に対する一次治療FOLFOXIRI+ペバシズマブ併用療法の第II相試験(JACCRO CC-11)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補 委	特定非営利活動法人日本がん臨床試験推進機構
295	JFMC46-1201 再発危険因子を有するStage II 大腸癌に対するUFT/LV療法の臨床的有用性に関する研究	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補 委	公益財団法人がん集学的治療研究財団
296	思春期女性へのHPV ワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18 陽性割合の推移に関する長期疫学研究(第I期;2012年4月-2019年12月)(2015年契約)	片渕 秀隆	研究部(医)	0	補 委	公益財団法人国際科学振興財団/クオールRD株式会社
297	熊本型早産予防対策事業(産科分野)調査研究	大場 隆	研究部(医)	0	補 委	熊本県
298	頸動脈ステント留置術後の再狭窄に対するシロスタゾールの効果に関する多施設共同無作為化比較試験(CAS-CARE)	甲斐 豊	医学部附属病院	0	補 委	財団法人先端医療振興財団
299	HER2陰性の手術不能又は再発乳癌患者を対象としたペバシズマブとパクリタキセルの併用療法の有用性を検討する観察研究(JBCRG-C05)	山本 豊	医学部附属病院	46,152	補 委	一般社団法人JBCRG
300	虚血性心疾患における心電図同期SPECT(QGS)検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究-4 冠血行再建術による心血管イベントリスクの減少効果を負荷心筋血流SPECTを用いた虚血量定量で評価するための調査研究(J-ACCESS IV)	菅村 公一	医学部附属病院	16,616	補 委	公益財団法人循環器病研究振興財団
301	治験の実施に関する研究[A型ボツリヌス毒素] 【治験名】GSK1358820の痙攣性発声障害患者を対象とした第II/III相試験	讃岐 徹治	医学部附属病院	1,000,000	補 委	公益財団法人日本医師会
302	課題番号25-1 「介護施設、一般病院におけるBPSD初期対応の効果検証に関する研究」 分担する研究項目 「地域におけるBPCD初期対応の効果検証」	橋本 衛	医学部附属病院	550,000	補 委	独立行政法人国立長寿医療研究センター
303	内転型痙攣性発声障害に対するチタンブリッジを用いた甲状軟骨形成術2型の効果に関する研究	讃岐 徹治	医学部附属病院	78,500,000	補 委	厚生労働省
304	動脈硬化症の進行防止のための診療体系の確立に関する研究(分担課題名:冠動脈硬化の可視化・内皮機能障害の評価)	辻田 賢一	医学部附属病院	1,500,000	補 委	独立行政法人国立循環器病研究センター
305	悪性神経膠腫患者における網羅的遺伝子解析に基づく臨床経過の調査	中村 英夫	医学部附属病院	3,000,000	補 委	出水市病院事業
306	HER2 陽性進行・再発乳癌に対するトラスツマブ、ペルツマブ、エリブリン併用療法の有用性の検討試験(JBCRG-M03)	山本 豊	医学部附属病院	0	補 委	一般社団法人JBCRG
307	ホルモン陽性HER2陰性進行再発乳癌に対する、ホルモン療法による維持療法を利用したペバシズマブ+パクリタキセル療法の治療最適化研究(JBCRG-M04)	山本 豊	医学部附属病院	41,539	補 委	一般社団法人JBCRG
308	HTLV-1疫学研究及び検査法の標準化に関する研究	野坂 生郷	医学部附属病院	1,300,000	補 委	国立感染症研究所
309	成人T細胞白血病に対する標準治療としての同種造血幹細胞移植法の確立およびゲノム解析に基づく治療法の最適化に関する研究	野坂 生郷	医学部附属病院	1,000,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
310	予後不良の神経膠腫に対する標準治療の確立と希少癌組織のバイオバンクを目的とした多施設共同研究	中村 英夫	医学部附属病院	0	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
311	血管網の自己組織化機構の解明	西山 功一	医学部附属病院	8,600,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
312	平成26年度環境研究総合推進費(PM2.5成分および黄砂が循環器・呼吸器疾患に及ぼす短期曝露影響に関する研究((4)大気中粒子が救急搬送に及ぼす影響の疫学研究))	笠岡 俊志	医学部附属病院	2,686,323	補 委	独立行政法人国立環境研究所
313	平成26年度環境研究総合推進費(PM2.5成分および黄砂が循環器・呼吸器疾患に及ぼす短期曝露影響に関する研究((5)粒子成分、黄砂の急性心筋梗塞・心肺停止発症に対する影響と高感受性集団に関する研究))	小島 淳	医学部附属病院	4,478,780	補 委	独立行政法人国立環境研究所
314	非弁膜症性心房細動患者の急性脳梗塞/TIAにおけるリパーロキサパンの投与開始時期に関する観察研究(RELAXED)	渡邊 聖樹	医学部附属病院	0	補 委	公益財団法人循環器病研究振興財団
315	閉経後ER 陽性進行再発乳癌におけるフルベストラントの至適投与方法の検討(JBCRG-C06)	山本 豊	医学部附属病院	0	補 委	一般社団法人JBCRG

315件

1,162,682,814

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	坂田 晋也	呼吸器内科	Dose escalation and pharmacokinetic study of carboplatin plus pemetrexed for elderly patients with advanced nonsquamous non-small-cell lung cancer: Kumamoto Thoracic Oncology Study Group Trial 1002	Oncology
2	出口 秀治	呼吸器内科	Cisplatin-induced eosinophilic pneumonia	Case Reports in Pulmonology
3	長岡 克弥	消化器内科	Lysine-Specific Demethylase 2 Suppresses Lipid Influx and Metabolism in Hepatic Cells	Molecular and Cellular Biology
4	宮本 英明	消化器内科	Clinicopathological differences of laterally spreading tumors arising in the colon and rectum	International Journal of Colorectal Disease
5	奥野 豊	血液内科	Complete remission achieved by a combination regimen with bortezomib, cyclophosphamide, and dexamethasone in a multiple myeloma patient with elevated serum KL-6 level.	Rinsho Ketsueki.
6	菊川 佳敬	血液内科 (地域専門医療推進学寄附講座)	Combined use of bortezomib, cyclophosphamide, and dexamethasone induces favorable hematological and organ responses in Japanese patients with amyloid light-chain amyloidosis: A single-institution retrospective study	International Journal of Hematol
7	和田 奈緒子	血液内科	Shikonin, dually functions as a proteasome inhibitor and a necroptosis inducer in multiple myeloma cells	International Journal of Oncology
8	上野 志貴子	血液内科	Aberrant expression of SALL4 in acute B cell lymphoblastic leukemia: Mechanism, function, and implication for a potential novel therapeutic target	Experimental Hematology
9	白石 直樹	腎臓内科	Low-density lipoprotein apheresis for proteinuria in lupus nephritis with intraglomerular foam cells containing cholesterol crystals.	American Journal of kidney Disease.
10	下田 誠也	代謝・内分泌内科	Comparison of the efficacy of sitagliptin and glimepiride dose-up in Japanese patients with type 2 diabetes poorly controlled by sitagliptin and glimepiride in combination.	Journal of Diabetes Investigation
11	西川 武志	代謝・内分泌内科	Mitochondrial reactive oxygen species in the pathogenesis of early diabetic nephropathy.	Journal of Diabetes Investigation
12	下田 誠也	代謝・内分泌内科	Insulin requirement profiles in Japanese hospitalized subjects with type 2 diabetes treated with basal-bolus insulin therapy.	Endocrine Journal
13	近藤 龍也	代謝・内分泌内科	Mild Electrical Stimulation with Heat Shock Reduces Visceral Adiposity and Improves Metabolic Abnormalities in Subjects with Metabolic Syndrome or Type 2 Diabetes: Randomized Crossover Trials.	EBioMedicine
14	松村 剛	代謝・内分泌内科	Statins mediate anti-atherosclerotic action in smooth muscle cells by peroxisome proliferator-activated receptor- γ activation.	Biochemical and Biophysical Research Communications
15	荒木 栄一	代謝・内分泌内科	Long-term treatment with empagliflozin as add-on to oral anti-diabetes therapy in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus	Diabetes, Obesity and Metabolism
16	掃本 誠治	循環器内科	Impact of CYP2C19 Polymorphism and Proton Pump Inhibitors on Platelet Reactivity to Clopidogrel and Clinical Outcomes Following Stent Implantation.	Thrombosis Research
17	花谷 信介	循環器内科	Circulating thrombospondin-2 reflects disease severity and predicts prognosis of patients with heart failure with reduced ejection fraction.	Circulation Journal
18	堀尾 英治	循環器内科	Role of endothelial cell-derived ANGPTL2 in vascular inflammation leading to endothelial dysfunction and atherosclerosis progression.	Arteriosclerosis, Thrombosis, and Vascular Biology
19	平田 快敏	循環器内科	Endothelial function and Cardiovascular Events in Chronic Kidney Disease.	International Journal of Cardiology
20	石井 正将	循環器内科	Differential Effects of Strong and Regular Statins on the Clinical Outcome of Patients With Chronic Kidney Disease Following Coronary Stent Implantation-The Kumamoto Intervention Conference Study (KICS) Registry.	Circulation Journal
21	山部 浩茂	循環器内科 (不整脈先端医療寄附講座)	Demonstration of anatomic reentrant circuit in verapamil-sensitive atrial tachycardia originating from the atrioventricular annulus other than the vicinity of the atrioventricular node.	The American journal of Cardiology
22	伊藤 美和	循環器内科	Mid-systolic flow reversal in a patient with mid-ventricular obstructive hypertrophic cardiomyopathy.	Journal of Echocardiography
23	掃本 誠治	循環器内科	Impact of CYP3A5 Polymorphism on Platelet Reactivity at Percutaneous Coronary Intervention and after 9 Months of Aspirin and Clopidogrel Therapy in Japanese Patients with Coronary Artery Disease.	European Journal of Clinical Pharmacology
24	金澤 尚徳	循環器内科 (不整脈先端医療寄附講座)	Importance of Pericardial Fat in the Formation of Complex Fractionated Atrial Electrogram Region in Atrial Fibrillation.	International Journal of Cardiology
25	星山 禎	循環器内科	Usefulness of non-contact mapping for catheter ablation of the ventricular tachycardia originating from the right ventricular outflow tract.	Journal of Arrhythmia
26	末田 大輔	循環器内科	Blood pressure variability, impaired autonomic function and vascular senescence in aged spontaneously hypertensive rats are ameliorated by angiotensin blockade.	Atherosclerosis
27	小川 久雄	循環器内科	Differences Between Rosuvastatin and Atorvastatin in Lipid-Lowering Action and Effect on Glucose Metabolism in Japanese Hypercholesterolemic Patients With Concurrent Diabetes- Lipid-Lowering With Highly Potent Statins in Hyperlipidemia With Type 2 Diabetes Patients (LISTEN) Study -.	Circulation Journal
28	山永 健之	循環器内科	Serial intravascular ultrasound assessment of very late stent thrombosis after sirolimus-eluting stent placement.	Journal of Cardiology
29	赤坂 朋紀	循環器内科	Clinical Outcomes of Percutaneous Coronary Intervention (PCI) at Hospital With or Without Onsite Cardiac Surgery Backup.	International Journal of cardiology

30	小川 久雄	循環器内科	Guidelines for Diagnosis and Treatment of Patients With Vasospastic Angina (Coronary Spastic Angina) (JCS 2013) – Digest Version –	Circulation Journal
31	田畑 範明	循環器内科	A case of human immunodeficiency virus-related heart failure resembling dilated cardiomyopathy but accompanied by high cardiac output.	Journal of Cardiology Cases
32	山永 健之	循環器内科	Percutaneous Coronary Intervention Strategy for Acute Coronary Syndrome Caused by Spontaneous Coronary Artery Dissection for Relieving Ongoing Ischemia – Case Series and Literature Review –	Journal of Cardiology Cases
33	田畑 範明	循環器内科	Chronic Kidney Disease Status Modifies the Association of CYP2C19 Polymorphism in Predicting Clinical Outcomes Following Coronary Stent Implantation.	Thrombosis Research
34	掃本 誠治	循環器内科	Gender Differences in Impact of Vascular Endothelial Dysfunction on Clinical Outcome Following Coronary Stenting in Patients with Coronary Heart Disease.	International Journal of Cardiology
35	花谷 信介	循環器内科	Akt1-Mediated Fast/glycolytic Skeletal Muscle Growth Attenuates Renal Damage in Experimental Kidney Disease.	Journal of the American Society of Nephrology
36	末田 大輔	循環器内科	Telmisartan exerts sustained blood pressure control and reduces blood pressure variability in metabolic syndrome by inhibiting sympathetic activity Running title: ARB, circadian BP, and sympathetic activity.	American Journal of Hypertension
37	平田 快祐	循環器内科	Reactive oxidative metabolites are associated with the severity of heart failure and predict future cardiovascular events in heart failure with preserved left ventricular ejection fraction.	International Journal of Cardiology
38	平田 快祐	循環器内科	Reactive oxygen metabolites are closely associated with the diagnosis and prognosis of coronary artery disease.	Journal of the American Heart Association
39	掃本 誠治	循環器内科	Gender Differences in Impact of CYP2C19 Polymorphism on Development of Coronary Artery Disease.	Journal of Cardiovascular Pharmacology
40	山永 健之	循環器内科	Single-Wire Pressure and Flow Velocity Measurement to Quantify Microvascular Dysfunction in Patients With Coronary Vasospastic Angina.	American Journal of Physiology:Heart and Circulatory Physiology
41	末田 大輔	循環器内科	Clinical Significance of Fecal Occult Blood Screening in Patients Before Percutaneous Coronary Intervention.	International Journal of Cardiology
42	掃本 誠治	循環器内科	High Incidence of Coronary Spasm After Percutaneous Coronary Interventions –Comparison between new generation drug-eluting stent and bare metal stent–	International Journal of Cardiology
43	花岡 洋右	循環器内科	Tissue inhibitor of metalloproteinase-3 knockout mice exhibit enhanced energy expenditure through thermogenesis	PLoS One
44	中島 誠	神経内科	Outcome in patients admitted outside regular hospital working hours: Does time until regular working hours matter?	International Journal Stroke
45	安東 由喜雄	神経内科	Impact of bilateral superior vena cavae on outcome of staged fontan procedure.	The Annals of Thoracic Surgery
46	三隅 洋平	神経内科	Myopathic phenotype of familial amyloid polyneuropathy with a rare transthyretin variant: ATTR Ala45Asp.	Amyloid
47	中島 誠	神経内科	Non-traumatic convexal subarachnoid hemorrhage concomitant with acute ischemic stroke.	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases
48	中島 誠	神経内科	Frequent ischemic events related to varying middle cerebral artery stenosis.	Internal Medicine
49	大嶋 俊範	神経内科	Changes in pathological and biochemical findings of systemic tissue sites in familial amyloid polyneuropathy more than 10 years after liver transplantation.	Journal of Neurology, Neurosurgery and Psychiatry
50	高松 孝太郎	神経内科	Degradation of amyloid beta by human induced pluripotent stem cell-derived macrophages expressing Nephilysin-2.	Stem Cell Research
51	植田 光晴	神経内科	Recent advances in transthyretin amyloidosis therapy.	Translational Neurodegeneration
52	山下 賢	神経内科	Coexistence of amyotrophic lateral sclerosis and myasthenia gravis.	Journal of Neuromuscular Diseases
53	山下 賢	神経内科	Concomitant accumulation of α -synuclein and TDP-43 in a patient with corticobasal degeneration.	Journal of Neurology
54	中原 圭一	神経内科	Juvenile-onset parkinsonism with digenic parkin and PINK1 mutations treated with subthalamic nucleus stimulation at 45 years after disease onset	Journal of the Neurological Sciences
55	鈴木 実	呼吸器外科	Aberrant methylation and silencing of IRF8 expression in non-small cell lung cancer.	Oncology Letters
56	池田 公英	呼吸器外科	Prognostic Significance of Aberrant Methylation of Solute Carrier Gene Family 5A8 in Lung Adenocarcinoma	Annals of Thoracic Surgery
57	池田 公英	呼吸器外科	Multiple lung adenocarcinomas associated with von hippel-lindau disease	Annals of Thoracic Surgery
58	別府 透	消化器外科 (消化器癌集学的治療学寄附講座)	Liver Resectability of Advanced Liver-limited Colorectal Liver Metastases Following mFOLFOX6 with Bevacizumab (KSCC0802 Study)	Anticancer Research
59	別府 透	消化器外科 (消化器癌集学的治療学寄附講座)	Hybrid-including endoscopic versus open hepatic resection for patients with hepatocellular carcinoma meeting the Milan criteria: a propensity case-matched analysis.	Anticancer Research
60	別府 透	消化器外科 (消化器癌集学的治療学寄附講座)	Perioperative chemotherapy and hepatic resection for resectable colorectal liver metastases.	Hepatobiliary Surgery and Nutrition
61	別府 透 宮本 裕士	消化器外科 (消化器癌集学的治療学寄附講座)	Chemotherapy and targeted therapy for patients with initially unresectable colorectal liver metastases, focusing on conversion hepatectomy and long-term survival	Annals of Surgical Oncology

62	別府 透	消化器外科 (消化器癌集学的治療学寄附講座)	Percutaneous radiofrequency ablation-assisted laparoscopic hepatectomy.	Asian Journal of Endoscopic Surgery
63	橋本 大輔	消化器外科	Autophagy is needed for the growth of pancreatic adenocarcinoma and has a cytoprotective effect against anticancer drugs	European Journal of Cancer
64	橋本 大輔	消化器外科	Pancreaticodigestive anastomosis and the postoperative management strategies to prevent postoperative pancreatic fistula formation after pancreaticoduodenectomy	Surgery Today
65	橋本 大輔	消化器外科	Pancreatic cancer in the remnant pancreas following primary pancreatic resection	Surgery Today
66	橋本 大輔	消化器外科	Staging laparoscopy leads to rapid induction of chemotherapy for unresectable pancreatobiliary cancers	Asian Journal of Endoscopic Surgery
67	林 洋光	消化器外科	Functional assessment versus conventional volumetric assessment in the prediction of operative outcomes after major hepatectomy	Surgery
68	日吉 幸晴	消化器外科	Clinical Significance of Surgical Resection for the Recurrence of Esophageal Cancer After Radical Esophagectomy	Annals of Surgical Oncology
69	井田 智	消化器外科	Changes in Body Composition Secondary to Neoadjuvant Chemotherapy for Advanced Esophageal Cancer are Related to the Occurrence of Postoperative Complications After Esophagectomy	Annals of Surgical Oncology
70	今井 克憲	消化器外科	Salvage treatment for local recurrence of hepatocellular carcinoma after local ablation therapy	Hepatology Research
71	今井 克憲	消化器外科	Clinicopathological and prognostic significance of preoperative serum zinc status in patients with hepatocellular carcinoma after initial hepatectomy	Annals of Surgical Oncology
72	今井 克憲	消化器外科	Splenic volume may be a useful indicator of the protective effect of bevacizumab against oxaliplatin-induced hepatic sinusoidal obstruction syndrome	European Journal of Surgical Oncology
73	石本 崇胤	消化器外科	Macrophage-derived reactive oxygen species suppress miR-328 targeting CD44 in cancer cells and promote redox adaptation	Carcinogenesis
74	蔵重 淳二	消化器外科	Epigenetic modulation and repression of miR-200b by cancer-associated fibroblasts contribute to cancer invasion and peritoneal dissemination in gastric cancer	Carcinogenesis
75	宮本 裕士	消化器外科	Effects of obesity on the outcome of laparoscopic surgery for colorectal cancer	Surgery Today
76	宮本 裕士	消化器外科	Efficacy of S-1 in colorectal cancer	Expert Opinion on Pharmacotherapy
77	宮本 裕士	消化器外科	Fascia lata onlay patch for repairing infected incisional hernias	Surgery Today
78	宮本 裕士	消化器外科	Evaluation of the necessity of primary tumor resection for synchronous metastatic colorectal cancer	Surgery Today
79	中川 茂樹	消化器外科	Triple positive tumor markers predict recurrence and survival in early stage hepatocellular carcinoma	Hepatology Research
80	新田 英利	消化器外科	Poor outcomes after hepatectomy in patients with ascites infected by methicillin-resistant staphylococci	Journal of Hepato-biliary-pancreatic Sciences
81	新田 英利	消化器外科	Cancer cells release anaphylatoxin C5a from C5 by serine protease to enhance invasiveness	Oncology Reports
82	岡部 弘尚	消化器外科	Remnant liver volume-based predictors of postoperative liver dysfunction after hepatectomy: analysis of 625 consecutive patients from a single institution	International Journal of Clinical Oncology
83	岡部 弘尚	消化器外科	Rank classification based on the combination of indocyanine green retention rate at 15 min and 99mTc-DTPA-galactosyl human serum albumin scintigraphy predicts the safety of hepatic resection	Nuclear Medicine Communications
84	坂本 慶太	消化器外科	Antiviral Therapy and Long-term Outcome for Hepatitis B Virus-related Hepatocellular Carcinoma after Curative Liver Resection in a Japanese Cohort	Anticancer Research
85	澤山 浩	消化器外科	Safety of polypropylene mesh for incarcerated groin and obturator hernias: a retrospective study of 110 patients	Hernia
86	渡邊 雅之	消化器外科	Outcomes of Preoperative Chemotherapy with Docetaxel, Cisplatin, and 5-Fluorouracil Followed by Esophagectomy in Patients with Resectable Node-Positive Esophageal Cancer	Annals of Surgical Oncology
87	渡邊 雅之	消化器外科	Modified gastric pull-up reconstructions following pharyngolaryngectomy with total esophagectomy	Diseases of the Esophagus
88	吉田 直矢	消化器外科	Triangulating Stapling Technique Covered with the Pedicled Omental Flap for Esophagogastric Anastomosis: A Safe Anastomosis with Fewer Complications	Journal of the American College of Surgeons
89	吉田 直矢	消化器外科	An original scoring system for predicting postoperative morbidity after esophagectomy for esophageal cancer	Surgery Today
90	吉田 直矢	消化器外科	Influence of preoperative docetaxel, cisplatin, and 5-fluorouracil on the incidence of complications after esophagectomy for resectable advanced esophageal cancer	Diseases of the Esophagus
91	坂本 快郎	消化器外科 (消化器癌集学的治療学寄附講座)	Diagnostic laparoscopic biopsy for intraabdominal tumors.	Surgery Today.
92	藤原 沙織 指宿 睦子	乳腺・内分泌外科	The localization of HER4 intracellular domain and expression of its alternately-spliced isoforms have prognostic significance in ER+ HER2- breast cancer.	Oncotarget.
93	指宿 睦子	乳腺・内分泌外科	C6ORF97-ESR1 breast cancer susceptibility locus: influence on progression and survival in breast cancer patients.	European Journal of Human Genetics

94	末田 愛子	乳腺・内分泌外科	An integrative analysis of PIK3CA mutation, PTEN, and INPP4B expression in terms of trastuzumab efficacy in HER2-positive breast cancer.	PLoS One
95	江藤 正俊	泌尿器科	Overall survival and final efficacy and safety results from a Japanese phase II study of axitinib in cytokine-refractory metastatic renal cell carcinoma.	Cancer Sci
96	坂口 勲	産科婦人科	High-dose oral tegafur-uracil maintenance therapy in patients with uterine cervical cancer	Journal of Gynecologic Oncology
97	山口 宗影	産科婦人科	A Giant Ovarian Tumor Causing Anasarca and Dyspnea Successfully Managed after Preoperative Drainage.	Gynecologic and Obstetrics Investigation
98	中尾 純子	産科婦人科	Omega-3 fatty acids for the treatment of hypertriglyceridemia during the second trimester.	Nutrition
99	松尾 勇児	産科婦人科	Clinicopathological heterogeneity in ovarian clear cell adenocarcinoma: a study on individual therapy practice.	Medical Molecular Morphology
100	坂口 勲	産科婦人科	Embolization for post-partum rupture of ovarian artery aneurysm: case report and review.	Journal of Obstetrics and Gynaecology Research
101	水溜 絵津子	産科婦人科	Spontaneous rupture of an unscarred gravid uterus in a primigravid woman at 32 weeks of gestation.	Case Reports in Obstetrics and Gynecology
102	山口 宗影	産科婦人科	Transvaginal methotrexate injection for the treatment of cesarean scar pregnancy: efficacy and subsequent fecundity.	Journal of Minimally Invasive Gynecology
103	木村 重美	小児科	Estimation of muscle strength from actigraph data in Duchenne muscular dystrophy	Pediatrics International
104	木村 重美	小児科	Parathyroid hormone and parathyroid hormone type-1 receptor accelerate myocyte differentiation	Scientific Reports
105	中村 英一	整形外科	The long-term outcomes of open-wedge osteotomy of the proximal tibia with hemicallotasis.	The Bone and Joint Journal
106	上川 将史	救急部	ACAT1-associated late endosomes/lysosomes significantly improve impaired intracellular cholesterol metabolism and survival of niemann-pick type c mice.	Acta Histochem Cytochem
107	上園 圭司	整形外科	Effect of postoperative passive motion on rotator cuff reconstruction with acellular dermal matrix grafts in a rat model.	American Journal of Sports Medicine
108	上原 悠輔	整形外科	Endoplasmic reticulum stress-induced apoptosis contributes to articular cartilage degeneration via C/EBP homologous protein.	Osteoarthritis Cartilage
109	中村 英一	整形外科	Development and validation of formulae to predict leg length following medial opening-wedge osteotomy of the proximal tibia with hemicallotasis.	The Knee
110	岡元 信和	整形外科	In vivo kinematic comparison between mobile-bearing and fixed-bearing total knee arthroplasty during step-up activity.	The Journal of Arthroplasty
111	柳澤 哲大	整形外科	Amyloid deposits derived from transthyretin in the ligamentum flavum as related to lumbar spinal canal stenosis.	Modern Pathology
112	西岡 宏晃	整形外科	Evaluation of the relationship between T1 ρ and T2 values and patella cartilage degeneration in patients of the same age group.	European Journal of Radiology
113	舛田 哲朗	整形外科	ANGPTL2 increases bone metastasis of breast cancer cells through enhancing CXCR4 signaling.	Scientific Reports
114	神人 正寿	皮膚科	Various applications of microRNAs in skin diseases.	Journal of Dermatological Science
115	福島 聡	皮膚科	Evaluation of sentinel node biopsy for cutaneous squamous cell carcinoma.	Journal of Dermatology
116	牧野 貴充	皮膚科	Down-regulation of microRNA-196a in the sera and involved skin of localized scleroderma patients.	European Journal of Dermatology
117	市原 麻子	皮膚科	Up-regulation of miR-18a contributes to the epidermal necrolysis in severe drug eruptions	Journal of Allergy and Clinical Immunology
118	市原 麻子	皮膚科	Case of disseminated cutaneous Mycobacterium chelonae infection mimicking cutaneous vasculitis	Journal of Dermatology
119	梶原 一亨	皮膚科 (地域専門医療推進学寄附講座)	miR-205 down-regulation promotes proliferation of dermatofibrosarcoma protuberans tumor cells by regulating LRP-1 and ERK phosphorylation	Arch Dermatol Res
120	梶原 一亨	皮膚科 (地域専門医療推進学寄附講座)	Immunoglobulin G4-related disease in a psoriasis vulgaris patient treated with ustekinumab.	Journal of Dermatology
121	宮下 梓	皮膚科	The proportion of lymphocytic inflammation with CD123-positive cells in lupus erythematosus profundus predict a clinical response to treatment.	Acta Derm Venereol
122	青井 淳	皮膚科 (地域医療システム学寄附講座)	A simple and effective reconstructive technique for repairing defects of the upper lip using a hatchet flap.	The Journal of Dermatology
123	青井 淳	皮膚科 (地域医療システム学寄附講座)	Aesthetic reconstruction of defects in the lateral side wall of the nose using a local V-Y flap.	The Journal of Dermatology
124	牧野 雄成	皮膚科	Knockout of endothelial cell-derived endothelin-1 attenuates skin fibrosis but accelerate cutaneous wound healing.	PLoS One
125	牧野 雄成	皮膚科	Serum levels of soluble carbonic anhydrase IX are decreased in patients with diffuse cutaneous systemic sclerosis compared to those with limited cutaneous systemic sclerosis.	Biosci Trends

126	小島 祥	眼科	Filtration bleb revision guided by three-dimensional anterior segment optical coherence tomography	Journal of Glaucoma
127	小島 祥	眼科	Risk factors for hyphema after trabeculectomy with mitomycin C	Journal of Glaucoma
128	井上 俊洋	眼科	Monocyte chemoattractant protein-1 level in the aqueous humor as a prognostic factor for the outcome of trabeculectomy	Clinical and Experimental Ophthalmology
129	小島 祥	眼科	Tear fluid signs associated with filtration blebs, as demonstrated by three-dimensional anterior segment optical coherence tomography	Clinical Ophthalmology
130	黒田 詩子	眼科	Fornix-based versus limbal-based conjunctival flaps in trabeculectomy with mitomycin C in high-risk patients	Clinical Ophthalmology
131	川路 隆博	眼科	Long-term outcomes and complications of trabeculectomy for secondary glaucoma in patients with familial amyloidotic polyneuropathy	PLoS One
132	小島 祥	眼科	Prospective investigation of filtering blebs using three-dimensional anterior-segment optical coherence tomography	JAMA Ophthalmology
133	中島 圭一	眼科	Evaluation of filtering blebs exhibiting transconjunctival oozing using anterior segment optical coherence tomography	Graefes' Archive for Clinical and Experimental Ophthalmology
134	井上 俊洋	眼科	Efficacy and safety of SNJ-1656 in primary open-angle glaucoma or ocular hypertension.	Acta Ophthalmologica
135	井上 みゆき	眼科	p38 MAP kinase inhibitor suppresses transforming growth factor- β 2-induced type 1 collagen production in trabecular meshwork cells.	PLoS One
136	讃岐 徹治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Laryngeal muscle activity in unilateral vocal fold paralysis patients using electromyography and coronal reconstructed images.	Otolaryngology-head and neck surgery
137	熊井 良彦	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Retrospective analysis of the clinical course for intubation vs. unspecified laryngeal granulomas.	European archives of oto-rhino-laryngology
138	讃岐 徹治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Long-term Voice Handicap Index after type II thyroplasty using titanium bridges for adductor spasmodic dysphonia.	Auris Nasus Larynx
139	宮丸 悟	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Laryngeal chondrosarcoma diagnosed by core-needle biopsy.	American Journal of OtolaryngologyVol
140	湯本 英二	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Over-adduction of the Unaffected Vocal Fold during Phonation in the Unilaterally Paralyzed Larynx.	Acta Oto-Laryngologica
141	東家 完	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Interspecies comparison of stellate cell-containing macula flavae and vitamin A storage in vocal fold mucosa.	Journal of Anatomy
142	山田 卓生	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Neurogenesis of the spiral ganglion cells in the cochlea requires the transcriptional cofactor TIS21.	Neuroscience Letters
143	兒玉 成博	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Long-term vocal outcomes of refined nerve-muscle pedicle flap implantation combined with arytenoid adduction.	European archives of oto-rhino-laryngology
144	吉田 遼司	歯科口腔外科	Overexpression of nucleostemin contributes to an advanced malignant phenotype and a poor prognosis in oral squamous cell carcinoma.	British Journal of Cancer
145	中川 純泰	歯科口腔外科	Overexpression of fibronectin confers cell adhesion-mediated drug resistance (CAM-DR) against 5-FU in oral squamous cell carcinoma cells.	International Journal of Oncology
146	川原 健太	歯科口腔外科	A low Dicer expression is associated with resistance to 5-FU-based chemoradiotherapy and a shorter overall survival in patients with oral squamous cell carcinoma.	Journal of Oral Pathology & Medicine
147	永田 将士	歯科口腔外科	Angiosarcoma of the oral cavity: A clinicopathological study and a review of the literature.	International Journal of Oral and Maxillofacial Surgery
148	池田 理	画像診断・治療科	Successful Treatment of Mesenteric Varices by Retrograde Transvenous Obliteration by the Delivery of N-butyl-2-cyanoacrylate via an Abdominal Wall Vein	Cardiovasc Intervent Radiol
149	中浦 猛	画像診断治療科 (画像診断解析学寄付講座)	Low-dose abdominal CT protocols with a tube voltage setting of 100 kVp or 80 kVp: Performance of radiation dose reduction and influence on visual contrast.	Clinical Radiology
150	木藤 雅文	画像診断・治療科	Contrast material and radiation dose reduction strategy for triple-rule-out cardiac CT angiography: feasibility study of non-ECG-gated low kVp scan of the whole chest following coronary CT angiography.	Acta Radiologica
151	白石 慎哉	画像診断治療科	Prediction of left main or 3-vessel disease using myocardial perfusion reserve on dynamic thallium-201 single-photon emission computed tomography with a semiconductor gamma camera.	Circulation Journal
152	宇都宮 大輔	画像診断治療科 (画像動態応用医学共同研究講座)	Evaluation of appropriateness of second-generation 320-row computed tomography for coronary artery disease	Springerplus
153	尾田 清太郎	画像診断治療科 (画像診断解析学寄付講座)	Low contrast and radiation dose coronary CT angiography using a 320-row system and a refined contrast injection and timing method.	Journal of Cardiovascular Computed Tomography
154	木藤 雅文	画像診断・治療科	Optimized subtraction coronary CT angiography protocol for clinical use with short breath-holding time-initial experience.	Academic Radiology
155	坂本 史	画像診断・治療科	Diagnosis of dementia with Lewy bodies: diagnostic performance of combined 123I-IMP brain perfusion SPECT and 123I-MIBG myocardial scintigraphy.	Annals of Nuclear Medicine
156	木藤 雅文	画像診断・治療科	Low-contrast-dose protocol in cardiac CT: 20% contrast dose reduction using 100 kVp and high-tube-current-time setting in 256-slice CT.	Acta Radiologica
157	斉藤 哲雄	放射線治療科	Respiratory gating during stereotactic body radiotherapy for lung cancer reduces tumor position variability.	PLoS One

158	小山 明日香	神経精神科	Association between depression, examination-related stressors, and Sense of Coherence: the "ronin-sei" study	Psychiatry and Clinical Neurosciences
159	松下 正輝	神経精神科	Is sense of coherence helpful in coping with caregiver burden for dementia?	Psychogeriatrics
160	小山 明日香	神経精神科	Item non-response on self-reported depression screening questionnaire among community-dwelling elderly	Journal of Affective Disorders
161	松下 正輝	神経精神科	Sleep duration and its association with sleepiness and depression in "ronin-sei" preparatory school students	Asian Journal of Psychiatry
162	福原 竜治	神経精神科	Family history of frontotemporal lobar degeneration in Asia - an international multi-center research	International Psychogeriatrics
163	小山 明日香	神経精神科	Suicidal ideation and related factors among dementia patients.	Journal of Affective Disorders
164	池田 学	神経精神科	Donepezil for dementia with Lewy bodies: a randomized placebo-controlled, confirmatory phase III trial	Alzheimer's Research & Therapy
165	川原 一洋	神経精神科	Effects of testosterone therapy on bipolar disorder with Klinefelter syndrome	General Hospital Psychiatry
166	山田 和慶	脳神経外科 (機能神経外科先端医療寄附講座)	Thalamic stimulation alleviates levodopa-resistant rigidity in a patient with non-Parkinson's disease parkinsonian syndrome	Journal of Clinical Neuroscience
167	矢野 茂敏	脳神経外科	Endoscopic endonasal skull base approach for parasellar lesions: Initial experiences, results, efficacy, and complications	Surgical Neurology International
168	穴井 茂雄	脳神経外科 (脳卒中急性冠症候群医療連携寄附講座)	Antitumor effect of fibrin glue containing temozolomide against malignant glioma.	Cancer Science
169	浜崎 禎	脳神経外科	Olfactory auras caused by a very focal isolated epileptic network in the amygdala	Epilepsy Behavior Case Report
170	植川 顕	脳神経外科	Rosuvastatin Ameliorates Early Brain Injury after Subarachnoid Hemorrhage via Suppression of Superoxide Formation and Nuclear Factor-Kappa B Activation in Rats	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases
171	篠島 直樹	脳神経外科 (機能神経外科先端医療寄附講座)	A patient with medulloblastoma in its early developmental stage	Journal of Neurosurgery Pediatrics
172	山本 隆広	脳神経外科	Characteristics of brain metastases from esophageal carcinoma	Surgical Neurology International
173	矢野 茂敏	脳神経外科	A flexible endoscope-assisted interhemispheric transcassal approach through the contralateral ventricle for the removal of a third ventricle craniopharyngioma: A technical report	Surgical Neurology International
174	小寺 厚志	集中治療部	A resuscitated case of cardiopulmonary arrest due to massive hemoptysis caused by a ruptured thoracic aortic aneurysm.	Acute Medicine and Surgery
175	小寺 厚志	集中治療部	Comparison of the conventional Macintosh laryngoscope, the Pentax Airwayscope, and the McGrath MAC video laryngoscope under restricted cervical motion: a manikin study	Acute Medicine & Surgery
176	小寺 厚志	集中治療部	Comparison of the utility of the Pentax Airway Scope (AWS) with that of the conventional Macintosh laryngoscope during chest compression: is the AWS an easy-to-use device for a novice?	Acute Medicine and Surgery
177	新森 大佑	集中治療部	Tsukushi is involved in the wound healing by regulating the expression of cytokines and growth factors.	Journal of Cell communication and Signalling
178	砥上 若菜	リハビリテーション部 (リハビリテーション科)	Effects of the water-holding capability of polyvinyl formal sponges on osteogenic ability in vivo experiments	Journal of Biomedical Materials Research Part B : Applied Biomaterials
179	三上 芳喜	病理部	Endometriosis-related ovarian neoplasms: pathogenesis and histopathologic features	Diagnostic histopathology
180	田口 和明	薬剤部	Carbamazepine-imatinib interaction in a child with chronic myeloid leukemia	Pediatrics International
181	西郷 智香	薬剤部	Meclofenamate elicits a nephroprotective effect in a rat model of ischemic acute kidney injury by suppressing indoxyl sulfate production and restoring renal organic anion transporters	Drug Design, Development and Therapy
182	齋藤 秀之	薬剤部	Hepatic sulfotransferase as a nephroprotective target by suppression of the uremic toxin indoxyl sulfate accumulation in ischemic acute kidney injury	Toxicological Sciences
183	田口 和明	薬剤部	False tacrolimus concentrations measured by antibody-conjugated magnetic immunoassay in liver transplant patient: 2 case reports and literature review	Experimental and Clinical Transplantation
184	池田 勝義	医療技術部 (中央検査部)	Evaluation of the Short-Term Stability of Specimens for Clinical Laboratory Testing	BIOPRESERVATION AND BIOBANKING
185	中口 裕二	医療技術部 (診療放射線技術部門)	Validation of fluence-based 3D IMRT dose reconstruction on a heterogeneous anthropomorphic phantom using Monte Carlo simulation.	Journal of Applied Clinical Medical Physics
186	中口 裕二	医療技術部 (診療放射線技術部門)	Validation of a quick three dimensional dose verification system for pre-treatment IMRT QA.	Radiological Physics and Technology
187	下東 吉信	医療技術部 (診療放射線技術部門)	Optimization of acquisition parameters and accuracy of target motion trajectory for four-dimensional cone-beam computed tomography with a dynamic thorax phantom.	Radiological Physics and Technology
188	下東 吉信	医療技術部 (診療放射線技術部門)	Evaluation of a single-scan protocol for radiochromic film dosimetry	Journal of Applied Clinical Medical Physics
189	湯村 旭代	医療技術部 (臨床検査技術部門)	Development of the enzymatic assay for whole blood choline using an automated biochemical analyzer	International Journal of Analytical Bio-Science

合計 189件

(様式第3)

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	田中 基彦	消化器内科	進行肝細胞癌	消化器の臨床
2	渡邊 丈久	消化器内科	NF- κ Bシグナル研究のこれまでの変遷	肝胆膵
3	中西 俊人	神経内科	ネフローゼ症候群の合併が、閉塞血管再開通の阻害因子となった可能性が考えられた脳塞栓症の1例	臨床神経学
4	植田 明彦	神経内科	HDLsとの鑑別に有用なCADASILの新たな診断法	臨床神経学
5	武山 秀晶	消化器外科	高度脈管侵襲陽性肝細胞癌に対する術後短期間肝動注療法の有用性	癌と化学療法
6	山本 豊	乳腺・内分泌外科	Efficacy and safety of TS-1 monotherapy for advanced/metastatic breast cancer - an observational study by the Kumamoto Breast Cancer Cooperative Group(KBCCG)].	癌と化学療法
7	田山 親吾	産科婦人科	正常大卵巣に局在し抗NMDA受容体脳炎を惹起した成熟嚢胞性奇形腫の1例	日本婦人科腫瘍学会雑誌
8	今村 裕子	産科婦人科	臨床的侵入奇胎の治療中に急性動脈閉塞を繰り返した一例	日本婦人科腫瘍学会雑誌
9	中尾 純子	産科婦人科	子宮体癌の摘出組織で同定された子宮体部と骨盤リンパ節の血管周囲類上皮細胞腫瘍(PEComa)の一例	日本婦人科病理学会雑誌
10	青木 早織	産科婦人科	子宮体部下部(lower uterine segment: LUS)発生の子宮体癌に卵巣癌を合併した帝王切開既往女性の1例:LUS癌の進展様式に関する考察	日本婦人科腫瘍学会雑誌
11	本岡 大社	産科婦人科	卵巣腫瘍との鑑別を要した嚢胞性子宮筋腫の一例	熊本産科婦人科学会
12	植賀 正彦	産科婦人科	3D超音波断層法が出生前診断に有用であった後頭孔脳脱出症の1例	日本新生児・周産期学会雑誌
13	犬童 康弘	小児科	先天性無痛無汗症の分子病態からみた神経成長因子と内感覚と自律神経	日本自律神経学会学会誌
14	興梠 航	整形外科	TKA後早期に大腿骨コンポーネントの沈み込みを来したRA患者の1例	整形外科と災害外科
15	楊 拓也	整形外科	2本縫合系スーチャーアンカーを用いた鏡視下バンカート修復術における術後再発に関する検討	整形外科と災害外科
16	笠 智就	整形外科	腰椎分離すべり症に対し内視鏡視下分離部除圧術を行った1例	整形外科と災害外科
17	湯上 正樹	整形外科	左下腿平滑筋肉腫に対してバスツール処理自家骨移植とVAC療法を併用した1例	整形外科と災害外科
18	伊藤 仁	整形外科	多発骨病変を呈した成人ランゲルハンス細胞組織球症の1例	整形外科と災害外科
19	落合 和久	整形外科	腰椎部に発生したダンベル型脊髄腫膜腫の1例	整形外科と災害外科
20	平山 雄大	整形外科	自家腱を用いた膝前十字靭帯再建術後に生じたCPPD結晶沈着症の1例	整形外科と災害外科
21	寺本 周平	整形外科	二分脊椎を伴わない脊髄保留症候群に脊髄脂肪腫を合併した1例	整形外科と災害外科
22	酒本 高志	整形外科	鏡視下骨性バンカートと腱板修復を施行した高齢者反復性肩関節前方脱臼の1例	整形外科と災害外科
23	福間 裕子	整形外科	前胸部に巨大腫瘍を呈した孤立性線維性腫瘍(Solitary fibrous tumor)の1例	整形外科と災害外科
24	米満 龍史	整形外科	膝周囲に発生したSoft Tissue Chondromaの1例	整形外科と災害外科
25	大野 貴史	整形外科	前十字靭帯損傷膝に合併する関節軟骨損傷に対する検討	整形外科と災害外科
26	藤本 徹	整形外科	T1 rho mappingによる椎間板変性度の評価	Journal of Spine Research
27	神人 正寿	皮膚科	【mast cellが関与する皮膚疾患-皮膚科医にとつてのmust】(Part2)肥満細胞:皮膚疾患における役割(case 10) 乳児血管腫	Visual Dermatology
28	神人 正寿	皮膚科	【全身性強皮症の臨床と研究Up to date】全身性強皮症と線維化機構	医学のあゆみ
29	神人 正寿	皮膚科	【ドレッシング材の種類と使い方-プロフェッショナルはこう選ぶ】(Part2)ドレッシング材の色々とその基本的な使い方(case 18) ハイドロポリマー	Visual Dermatology
30	福島 亜矢子	眼科	開放隅角緑内障における緑内障眼薬配合剤への切り替え効果の前向き検討	眼科臨床紀要
31	鮫島 靖浩	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	頭頸部癌手術前の嚥下機能評価と術前および術中の介入の意義	頭頸部癌
32	讃岐 徹治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	痙攣性発声障害の診断-アンケート調査による検討-	喉頭
33	増田 聖子	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	耳下腺腫瘍の穿刺吸引後に顔面神経麻痺をきたした1例	FACIAL NERVE RESEARCH
34	竹田 大樹	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	頸部リンパ節指状嵌込肉腫例	耳鼻咽喉科臨床

35	小寺厚志	集中治療部	長時間陸路搬送された椎骨動脈損傷を伴う頸部穿通症の1例	日本救急医学会雑誌
36	徳永 健太郎	集中治療部	悪性症候群との鑑別が困難であった急性テオフィリン中毒の1例	集中治療医学
37	木下 順弘	集中治療部	多発外傷の治療中に脳死状態となり妊娠25週で出産した1例	日本外傷学会誌
38	本田 由美	病理部	腎部の脂肪性孤立性線維性腫瘍(脂肪性血管外皮腫)の1例	診断病理
39	下田 環	病理部	Micropapillary patternを呈した膀胱Urothelial carcinomaの1例	日本臨床細胞学会九州連合会雑誌
40	湯村 旭代	医療技術部(中央検査部)	ヘモグロビンA1c値の測定方法間差の現状	医学検査
41	甲斐 祐大	医療技術部 (診療放射線技術部門)	胸部の画像誘導放射線治療における画像照合の不確かさに関する検討	日本放射線技術学会雑誌
42	橋田 昌弘	医療技術部 (診療放射線技術部門)	診療放射線技師の業務に関連したインシデントレポート ――過去10年間分の解析結果――	日本放射線技術学会雑誌

合計 42件

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容：申請書類の提出、委員会における審議、審議結果通知、変更の手続、有害事象が発生した場合、臨床研究・医療技術の終了、中止等。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 1 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容：委員会の設置、任務（利益相反自己申告書による審査）、申告書の提出、審査結果等（倫理委員会、治験審査委員会への審議結果通知等）、指導等、異議申し立て、情報開示など。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 5 2 9 回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1 回
・ 研修の主な内容：医学系研究の基本事項の解説、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」について	

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各診療科にて実施される専門医修練プログラムの主な内容は、以下のとおり。

- ・英語論文抄読会
- ・症例検討プレゼンテーション
- ・病理診断講習
- ・エコー下生検トレーニング
- ・カテーテル挿入講習
- ・内視鏡トレーニング、内視鏡診断勉強会
- ・血管造影トレーニング
- ・超音波トレーニング
- ・心エコー実技講習会
- ・大学院生研究発表会への参加
- ・神経放射線カンファレンス
- ・病理標本の鏡検及び病理診断報告書作成
- ・検体処理
- ・アミロイドーシス診断セミナー
- ・回診
- ・外来マネジメントトレーニング 等

2 研修の実績

研修医の人数 50.4人

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
笠岡 俊志	総合診療(救急・総合診療部)	教授	29年	
満屋 裕明	血液内科	教授	25年	
満屋 裕明	膠原病内科	教授	25年	
向山 政志	腎臓内科	教授	29年	
荒木 栄一	糖尿病・代謝・内分泌内科	教授	25年	
興梠 博次	呼吸器内科	教授	38年	
庄野 孝	消化器内科	助教	13年	内視鏡診断・治療に関する高度医療技能
階子 俊平	消化器内科	特任助教	10年	
石川 智久	神経精神科	助教	15年	
安東 由喜雄	神経内科	教授	32年	
掃本 誠治	循環器内科	准教授	27年	
中村 公俊	小児科	准教授	35年	
馬場 秀夫	消化器外科	教授	32年	
岩瀬 弘敬	乳腺・内分泌外科	教授	35年	
鈴木 実	呼吸器外科	教授	26年	
水田 博志	整形外科	教授	37年	
矢野 茂敏	脳神経外科	講師	27年	
福井 寿啓	心臓血管外科	教授	21年	
猪股 裕紀洋	小児外科	教授	38年	
猪股 裕紀洋	移植外科	教授	38年	
尹 浩信	皮膚科	教授	26年	
尹 浩信	形成・再建科	教授	26年	
河野 吉昭	泌尿器科	講師	12年	
片渕 秀隆	産科・婦人科	教授	34年	

谷原 秀信	眼科	教授	30年
蓑田 涼生	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	准教授	25年
山下 康行	画像診断・治療科	教授	34年
大屋 夏生	放射線治療科	教授	28年
山本 達郎	麻酔科	教授	33年
笠岡 俊志	救急外来	教授	29年
三上 芳喜	病理診断科（病理部）	教授	25年
中山 秀樹	歯科口腔外科	教授	19年

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

<p>① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）</p> <p>・研修の主な内容</p> <p>【薬剤部】 薬剤部では、職員研修を目的として、定期的に①「薬剤管理指導検討会」及び②「新薬説明会」を、また、不定期に③「くすりの勉強会」を開催している。</p> <p>【看護部】 看護部では、教育理念・教育方針のもと、毎年院内教育計画を立案し、実施している。</p> <p>【中央検査部】 特定機能病院として、高度な臨床検査体制を構築するため、別紙の研修をスタッフ全員に対して行っており、臨床検査の精度保証の向上に努めている。</p> <p>【ME機器センター】 看護師の異動次期に、人工呼吸器に関する研修を実施することは、医療事故防止の面で有効と考え毎年実施している。</p> <p>【中央放射線部】 特定機能病院としての高度な救急医療に対応できるよう、救急放射線検査に関する研修を実施している。</p> <p>・研修の期間・実施回数・参加人数</p> <p>【薬剤部】 別紙（1）のとおり</p> <p>【看護部】 別紙（2）のとおり</p> <p>【中央検査部】 別紙（3）のとおり</p> <p>【ME機器センター】 別紙（4）のとおり</p> <p>【中央放射線部】 別紙（5）のとおり</p>
<p>② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）</p> <p>・研修の主な内容 「個人情報保護」、「院内感染対策」、「医療安全管理」等、本院において医療業務に携わる上で、各職員が必ず習得しておくべき基本的かつ重要な事項について周知徹底させる。</p> <p>・研修の期間・実施回数 平成27年4月1日(水)、4月2日(木) ※採用者があり次第、随時実施</p> <p>・研修の参加人数 388名(内訳：4月1日採用者304名、中途採用者84名)</p>
<p>③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況</p> <p>・研修の主な内容</p> <p>・研修の期間・実施回数</p> <p>・研修の参加人数</p>

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ② 現状
管理責任者氏名	病院長 水田 博志
管理担当者氏名	各診療科長、中央診療施設等の長、医療安全管理部長、医療情報経営企画部長、薬剤部長、看護部長、医療技術部長、栄養管理部長、各ユニット長

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医事ユニット 各診療科 中央病歴室 電算室	診療に関する諸記録は、平成22年9月20日以前は紙媒体を原本とし、患者ID番号をもとに患者毎に整備し、10年間保管・管理している。平成22年9月20日以降は、電子情報を原則とし、電子保存している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務・人事ユニット	
	高度の医療の提供の実績	医事ユニット	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事ユニット	
	高度の医療の研修の実績	総務・人事ユニット	
	閲覧実績	総務・人事ユニット	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事ユニット	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事ユニット 薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項及び第九の二十第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事ユニット	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事ユニット	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事ユニット	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事ユニット	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医事ユニット	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事ユニット	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事ユニット	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事ユニット	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医事ユニット
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事ユニット
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事ユニット
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事ユニット
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医事ユニット
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医事ユニット
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器センター
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器センター		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	<input checked="" type="radio"/> 2. 現状	
閲覧責任者氏名	事務部長 松田 篤郎		
閲覧担当者氏名	総務・人事ユニット長 坂田 親信		
閲覧の求めに応じる場所	応接室（管理棟 2階）		
閲覧の手続の概要			
病院事務部総務・人事ユニット（総務担当）へ、閲覧の要求を行う。			

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0 件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第6)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： 熊本大学医学部附属病院は、適切な安全安心で質の高い医療サービスを患者及びその家族に提供するために、医療事故、医薬品管理及び医療機器管理等を踏まえた医療に係る安全管理を目指す。また、「人間はエラーを犯す」ということを前提に、従業者一人一人が医療安全管理に対する高い意識を持ち、関係する各部署及び各委員会等が連携を図り、本院における医療安全管理を推進する。	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年15回
・ 活動の主な内容： (1) 医療安全管理に係る基本方針に関すること。 (2) 医療安全管理のための具体的措置に関すること。 (3) 医療安全に係る従業者の教育及び研修に関すること。 (4) 医療事故等発生時の原因の分析究明、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知に関すること	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年2回
・ 研修の主な内容： 新規採用者、中途採用者のオリエンテーションとは別に、全職員を対象に実施しており、医療安全管理部からの重要な通達事項や、インシデントに関連したテーマの講演会（例：血管外漏出等）を実施している。	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： インシデントが発生した場合、各部署からインシデントレポートにより医療安全管理部へ報告がある。なお、重大なインシデントについては部署リスクマネージャーから即時にゼネラルリスクマネージャーへ連絡があり、ICに同席するなど初期対応から医療安全管理部が介入し対応している。インシデントレポートを基に要因分析と再発防止策の検討を医療安全管理部と医療安全管理委員会で実施している。検討した再発防止策は、リスクマネージャー連絡会議において警鐘事例とともに各部署のリスクマネージャーに通達し、その後リスクマネージャーから全職員に周知される。また、部署リスクマネージャーによる相互チェックや、医療安全管理部運営委員会委員による院内巡視など、定期的な監査も実施している。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（4名）・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（6名）・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員： 専任（4）名 兼任（18）名 ・ 活動の主な内容： (1) 医療の安全性の向上に係る方策の立案、推進及び検証に関すること。 (2) 安全管理に係る教育・研修に関すること。 (3) 医療事故及びインシデントの情報収集、原因の調査・分析に関すること。 (4) 医療事故等への対応に関すること。 (5) リスクマネージャーとの連絡調整に関すること。 (6) 医療安全管理マニュアルに関すること。 (7) 熊本大学医学部附属病院医療安全管理委員会との連携 (8) その他医療事故の防止、医療の安全性の向上等に関し必要な事項	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第 6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 院内感染防止対策に関する基本的な考え方2. 院内感染対策委員会、その他の医療機関内の組織に関する基本的事項3. 院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本方針4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針7. その他の医療機関内における院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 3 回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 院内感染防止対策に関する事項の審議2. 院内感染防止対策研修会の企画・実施3. 感染予防に関する事業の企画・実施4. MRSA等の薬剤耐性菌の分離状況についての報告5. 抗MRSA薬適正使用報告6. 感染制御チーム（ICT）からの報告	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 抗菌薬の適正使用について2. 血液培養検査について	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<p>各職種からなる ICT を組織し、病院感染対策マニュアルの改訂、院内感染発生時の対応、院内ラウンド、抗菌薬適正使用の推進、院内感染の教育・啓発、職業感染防止対策などの活動を行っている。</p>	

(様式第6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	○・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年3回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>【院内研修】</p> <p>「院内における医薬品の取り扱いと薬剤部の紹介」 〔講師：副薬剤部長、4月2日〕</p> <p>「看護師に必要な薬理作用」 〔講師：薬剤部長、6月13日〕</p> <p>「①当院における抗菌薬の適正使用推進への取組み、②血管外漏出に注意すべき薬剤と防止・対処」 〔講師：①ICT担当薬剤師、②薬剤部長、 6月27日・7月1日・7月16日（同じ内容で3回実施）〕</p> <p>【病棟別等の対象限定での研修】</p> <p>「B型・C型肝炎治療薬について」 〔講師：薬剤師、対象：患者および医療スタッフ、5月16日〕</p> <p>「口腔粘膜吸収癌性疼痛治療剤（イーフェンバカル錠）説明」 〔講師：麻薬室長、対象：緩和ケアチーム・協力者、5月23日〕</p> <p>「ステロイド薬、ポリノスタットについて」 〔講師：薬剤師、対象：西病棟10階看護師、5月29日〕</p> <p>「ハイリスク薬（カテコールアミン）の作用について」 〔講師：薬剤師、対象：西病棟7階看護師、6月10日〕</p> <p>「静脈注射を安全に実施するために必要な薬理」 〔講師：薬剤師、対象：クリニカルラダーレベルⅠの看護師、7月28日〕</p> <p>「①降圧剤の作用について、②緩下剤全般について、③モビプレップ内服方法について」 〔講師：薬剤師、対象：研修医、東病棟7階看護師、8月20日〕</p> <p>「静脈注射を安全に実施するために必要な薬理」 〔講師：薬剤師、対象：新採用および中途採用看護師、9月8日〕</p> <p>「静脈注射を安全に実施するために必要な薬理」 〔講師：薬剤師、対象：ラダーレベルⅡ-2の看護師 他、11月20日〕</p> <p>「静脈注射を安全に実施するために必要な薬理」 〔講師：薬剤師、対象：クリニカルラダーレベルⅠ以上の看護師、1月23日〕</p> <p>「抗菌薬の作用特性や投与方法・届出制・許可制等の院内ルール」 〔講師：薬剤師、対象：看護師（感染リンクナース）、1月27日〕</p> <p>「ハイリスク薬注意点について ～抗血栓薬～」 〔講師：薬剤師、対象：西病棟12階看護師、2月24日〕</p> <p>「妊娠中の向精神薬について」 〔講師：薬剤師、対象：西病棟2階および7階看護師、2月25日〕</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 （○・無）</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>医薬品安全管理責任者に薬剤部長を任命（平成19年4月）し、院内に医薬品安全管理専門委員会を設置した。業務手順書は平成19年7月に作成した。</p> <p>平成26年9月には、専門委員会を開催し業務手順書を改訂した（第9版）。今回の改訂内容については、救急カートの医薬品の点検についての追記、速放性医療用麻薬製剤の患者による自己管理についての追記、麻薬を外来患者へ処方する際の注記事項の追記、入院患者への麻薬の投与の項の追記、薬剤部内各部署作成の業務手順書改訂に伴う関連箇所の変更等である。また、本院におけるハイリスク薬リストを改訂した。</p> <p>病棟・外来診療棟等、院内各部署における常備医薬品の管理状況は、担当薬剤師が毎月訪問して確認すると共に、年1回は常備医薬品の全品目を新しいロット製品に入れ替える作業を薬剤部で実施することにより、医薬品の品質管理・安全使用に努めている。手順書に基づく業務の実施についてはチェックリストにより年1回確認している。</p>	

④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

医薬品安全管理責任者は、院内各部署における常備医薬品に関する管理状況、内用剤・外用剤・注射剤の調剤時における疑義照会内容、外来化学療法室における疑義照会事例および病棟薬剤業務に関連した疑義照会事例等について、情報の収集・確認に努め、医療安全管理委員会において、その状況等を報告している。院内で発生した薬剤業務関連のインシデント事例について薬剤師への情報共有・周知を図り、再発防止のための注意喚起に努めている。院内各端末からは、病院情報管理システムを用いて、最新（毎月1回更新）の添付文書情報を閲覧可能としており、また、新規採用医薬品については、毎月発行の院内情報誌「熊大病院・医薬品情報」にて概要と注意事項等の情報を発信する共に、院内専用の医薬品情報ホームページにも掲示している。

調剤（注射剤調剤を含む）に際しては、質疑応答内容を記録し、処方鑑査、疑義照会および医薬品安全使用の目的に活用している。がん化学療法においては、処方ミスを回避し安全性を確保するため、注射用抗がん剤に対する処方には専用のレジメンオーダーリングシステムのみでの運用に限定している。注射用抗がん剤の無菌調製は、休日も含め全て薬剤部で担当している。また、治療域の狭い薬物や個体差の大きい薬物等については、薬物血中濃度モニタリング（TDM）による投与設計・管理を推奨し、特に抗MRSA薬については、毎月度開催される感染対策委員会においてTDM実施状況を調査報告し、TDMに基づいた適正投与を行うように医師に対し周知徹底を図っている。

更に、平成26年度においては、以下のような新規の取り組みを開始した。まず、8月には処方オーダが中止された調剤薬を誤って支給することを防止すると共に、電話での調剤依頼等のやり取りを軽減する目的から、内用・外用剤の入院処方（退院時処方も含む）については薬剤部側で調剤終了後に病院情報システム上で発送登録を行い、病棟側からも“薬剤受領状況確認画面”で調剤状況を随時確認出来るように改善した。11月には持参薬確認システムを構築・導入し、対象をほぼ全病棟へ運用拡大した。12月からは保険調剤薬局との情報共有と医薬品適正使用の推進を意図して院外処方箋への検査値（13項目）表示を開始した。また、翌年1月からは、平日の始業時には病棟薬剤業務担当者と医薬品情報担当者との情報共有ミーティングを継続開催している。同じく1月より中央手術部においてはプロポフォル製剤についても麻薬・筋弛緩剤と同様の管理（在庫管理・払い出し・返品受領）を開始した。2月からは定期処方以外の臨時処方についても注射剤の個人別セット支給を2病棟において拡充した。一方で、年度当初より増員を図った上で病棟薬剤業務の拡充に尽力し、平成27年1月度の実績を基に届出を行い、3月度より病棟薬剤業務実施加算の承認施設としての業務を正規に開始し質的向上に努めている。

(様式第 6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 3 2 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>平成 2 6 年 4 月 輸注ポンプ、人工呼吸器、除細動器の正しい使い方 研修医 5 9 名</p> <p>4 月 閉鎖式保育器の基礎 看護師 8 名、医療技術職員 7 名</p> <p>5 月 人工呼吸器に必要なモニタリング 看護師 2 0 名、医療技術職員 2 名</p> <p>6 月 放射線治療器 R A L S の安全な使用法 医療技術職員 7 名</p> <p>6 月 除細動器と A E D の安全使用法 医師 2 名、看護師 3 4 名、医療技術職員 5 名</p> <p>7 月 経皮的な心肺補助装置の基礎 医師 9 名、看護師 1 2 名、医療技術職員 1 0 名</p> <p>9 月 人工呼吸器の基礎と最新モードについて 看護師 3 名、医療技術職員 2 3 名</p> <p>1 0 月 放射線治療器リニアックの安全な使用法 医療技術職員 8 名</p> <p>1 0 月 C H D F の基礎とトラブル対応 医師 1 名、看護師 8 名、医療技術職員 7 名</p> <p>1 0 月 閉鎖式保育器と N I C U で使用する人工呼吸器 看護師 1 7 名、医療技術職員 4 名</p> <p>1 0 月 放射線治療器リニアックの安全な使用法 医療技術職員 8 名</p> <p>1 1 月 医療機器 返却から貸出までの一連の流れ 医師 2 名、看護師 3 6 6 名</p> <p>1 1 月 人工呼吸器の安全対策とモニタリング 看護師 2 2 名、医療技術職員 1 1 名</p> <p>1 2 月 除細動器について 医師 1 名、看護師 1 7 名、医療技術職員 6 名</p> <p>1 2 月 放射線治療器 R A L S の安全な使用法 医療技術職員 9 名</p> <p>平成 2 7 年 1 月 人工心肺の基礎と安全対策 医師 1 名、看護師 2 4 名、医療技術職員 9 名</p> <p>1 月 放射線治療器リニアックの安全な使用法 医療技術職員 9 名</p> <p>2 月 C H D F 装置のモニタリング 医師 1 名、看護師 4 名、医療技術職員 9 名</p> <p>2 月 放射線治療器 R A L S の安全な使用法 医療技術職員 9 名</p> <p>3 月 放射線治療器リニアックの安全な使用法 医療技術職員 9 名</p> <p>★ 医療機器導入時研修 2 1 回 医師 1 0 名 看護師 2 9 0 名、医療技術職員 6 0 名</p> <p>★ 各病棟研修会 6 回 看護師 5 0 名、医療技術職員 1 5</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 ((有)・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>医療機器保守・点検業務手順書に則り、人工心肺装置及び補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動器、閉鎖式保育器、直線加速器、R A L S、輸液ポンプ、シリンジポンプ、小型シリンジポンプ、経腸栄養ポンプ、低圧持続吸引器、空気除菌・脱臭装置、A E D、麻酔器は、保守点検に関する計画を策定し、ME 機器センター技士ならびに製造販売業者が保守点検を実施している。保守点検後は、その状況を毎月、医療機器安全管理責任者に報告し、最終的には病院長が委員長となっている医療機器安全管理委員会に提出している。</p> <p>上記の医療機器は、始業・終業時点検、使用中点検についても医療機器保守・点検業務手順書に則り実施している。なお、医療機器不具合時の対応法についても院内ネットワーク上で閲覧できる状態であり、不具合機器は、医療機器修理依頼書と共に ME 機器センターに持参してもらっている。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ((有)・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>医療安全情報で医療機器の不具合に関する事例が報告された際、聞きなれない言葉がでた際には、詳細を記した ME 機器センターニュースを発行し、病棟棟に配布している。また、他施設で起こった医療事故に関しては、医療機器の安全使用のための研修会の中でも説明することもある。なお、研修会に参加できなかった医療職員のために配布した資料を渡している。</p> <p>医療機器の添付文書は ME 機器センターで管理すると共に、院内ネットワーク上で何時でも閲覧できる。当センター職員は、院外の講演会、技術講習会へも積極的に参加し、技術の習得に努めている。</p>	

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 ○病院機能評価 日本医療機能評価機構 平成21年6月5日承認 Ver5.0	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 熊大病院ホームページ、熊大病院ニュース(年3回発行)、熊大病院概要(毎年度発行)等を活用し、本院の役割に関する情報を発信している。 また、熊本県内外の医療機関と交流を図るため、熊本大学医学部附属病院連携病委員長懇談会を設置しているが、当会において、各医療機関と意見交換を密にすることにより、種々の情報発信を行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 当該科からのコンサルテーションシートに基づき、他科の診療科が必要に応じて診療・治療・検査等を連携して行う。	